

重点事業の自己評価

報告書

(平成28年度自己評価シート取りまとめ)

平成29年8月

仙台市

目次

1 重点状況の自己評価の概要	1
2 重点事業 自己評価シート	3
I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策	3
1 学びを多彩な活力につなげる都市づくり	3
(1) 学びを楽しむミュージアム都市の推進	3
(2) 学都・仙台の資源を多面的に生かすまちづくり	5
(3) 地域と共に育む子どもたちの学ぶ力	6
2 地域で支え合う心豊かな社会づくり	9
(1) 共生・健康社会づくり	9
(2) 子育て応援社会づくり	13
(3) 安全で安心な市民の暮らしを支える取り組み	17
3 自然と調和した持続可能な都市づくり	21
(1) 低炭素・資源循環都市づくり	21
(2) 自然と調和した杜の都の都市個性を高める土地利用の推進	24
(3) 機能集約と地域再生による持続的な発展を支える都市構造の形成	26
(4) 誰もが利用しやすく都市活力を高める交通基盤づくり	28
4 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり	29
(1) 地域産業の飛躍と競争力の拡大	29
(2) 東北の交流人口の拡大への戦略的取り組み	32
(3) 未来への活力を創る産業の育成・誘致	36
(4) 新たな都市軸の形成と活用	39
II 復興まちづくりを進める3つの政策方針	41
1 暮らしや経済の再建に向けた取り組み	41
2 安全・安心確保の取り組み	46
3 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み	49
III 都市像の実現に向けた4つの経営方針	51
1 未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進	51
2 地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進	53
3 地方の時代を先導する市役所への自己変革	56
4 公共施設の経営改革	57

重点事業の自己評価の概要

1 趣旨

仙台市実施計画（平成 28 年度～平成 30 年度）は、仙台市基本計画に掲げる目標の達成に加え、東日本大震災における長期的視点により取り組むべき課題に対し、3 年間に取り組む施策を明らかにしたものであり、施策の着実な推進とともに実効性の確保に向けた取り組みが不可欠です。そのため、仙台市実施計画の進行管理については、施策目標の達成状況等にかかる評価・点検を毎年度実施し、その結果も考慮して、次年度への予算への適切な反映に努めることとしております。

この度、仙台市実施計画に掲げる重点事業について、平成 28 年度における進捗状況の自己評価を行い、取りまとめました。

2 評価方法

仙台市実施計画「第 2 章 重点的な取り組み」に位置づけた事業（123 事業）について、平成 28 年度に実施した事業内容を整理し、項目ごとに「重点事業 自己評価シート」による評価を行いました。

3 各事業の進捗状況

各事業の進捗状況については、実施計画において定めた指標の達成状況や定性目標に向けた進捗状況を踏まえた自己評価を行い、下記のとおり、◎～×を付しています。

- ◎… 目標の達成に向け、予定を上回る成果があり、進捗状況が良好であると判断されるもの。
- … 目標の達成に向け、予定どおり進んでおり、進捗状況が順調であると判断されるもの。
- △… 目標の達成に向け、一部で予定どおり進んでおらず、やや遅れが生じていると判断されるもの。
- ×… 目標の達成に向け、予定どおり進んでおらず、進捗状況が遅れていると判断されるもの。

4 評価結果の概要

各事業は概ね「○」の評価となっており、全体としては目標の達成に向けて着実に進捗しています。

予定を上回る成果を上げた事業は、次の 4 事業です。

I 都市像の実現を牽引する 4 つの重点政策

放課後子ども教室推進事業、コミュニティサイクル事業、インバウンド推進事業、企業立地促進事業
遅れが生じている事業は、次の 9 事業です。

I 都市像の実現を牽引する 4 つの重点政策

確かな学力育成事業、市民健康づくり推進事業、障害者福祉センター整備事業、せんだい E-Action
推進事業、若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業、西部地区観光振興事業、荒井駅北土
地区画整理事業、青葉山公園整備事業

II 復興まちづくりを進める 3 つの政策方針

震災復興メモリアル事業

なお、いじめ防止対策推進事業については、いじめ防止に向けて対策を検討しているところであり、現時点での評価は行っておりません。

評価の概要は、次の表のとおりです。また、詳しくは各自己評価シートをご参照ください。

表 重点事業の自己評価結果の概要

	自己評価結果	備考
I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策		
1 学びを多彩な活力につなげる都市づくり		
(1) 学びを楽しむミュージアム都市の推進	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
(2) 学都・仙台の資源を多面的に生かすまちづくり	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
(3) 地域と共に育む子どもたちの学ぶ力	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。 なお、「いじめ防止対策推進事業」は、いじめ防止に向けた対策を検討しているところであり、現時点での評価は行わない。	△:確かな学力育成事業 一:いじめ防止対策推進事業 ◎:放課後子ども教室推進事業
2 地域で支え合う心豊かな社会づくり		
(1) 共生・健康社会づくり	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。	△:市民健康づくり推進事業 △:障害者福祉センター整備事業
(2) 子育て応援社会づくり	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
(3) 安全で安心な市民の暮らしを支える取り組み	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
3 自然と調和した持続可能な都市づくり		
(1) 低炭素・資源循環都市づくり	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。	◎:コミュニティサイクル事業 △:せんだい E-Action 推進事業
(2) 自然と調和した杜の都の都市個性を高める土地利用の推進	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
(3) 機能集約と地域再生による持続的な発展を支える都市構造の形成	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。	△:若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業
(4) 誰もが利用しやすく都市活力を高める交通基盤づくり	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
4 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり		
(1) 地域産業の飛躍と競争力の拡大	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
(2) 東北の交流人口の拡大への戦略的取り組み	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。	△:西部地区観光振興事業 ◎:インバウンド推進事業
(3) 未来への活力を創る産業の育成・誘致	一部で予定を上回る成果を上げた事業があり、目標の達成に向け着実に進捗している。	◎:企業立地促進事業
(4) 新たな都市軸の形成と活用	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。	△:荒井駅北土地区画整理事業 △:青葉山公園整備事業
II 復興まちづくりを進める3つの政策方針		
1 暮らしや経済の再建に向けた取り組み	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
2 安全・安心確保の取り組み	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
3 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。	△:震災復興メモリアル事業
III 都市像の実現に向けた4つの経営方針		
1 未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
2 地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
3 地方の時代を先導する市役所への自己変革	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
4 公共施設の経営改革	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

1. 学びを多彩な活力につなげる都市づくり

(1) 学びを楽しむミュージアム都市の推進

目 標	まち全体が一つのミュージアムとなって、市民や訪れた人が学びを楽しみ豊かな時間を過ごすことができる「ミュージアム都市」づくりを市民協働で推進します。				
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。				
個別事業名	①文化振興事業 ②せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業 ③ミュージアム連携事業 ④八木山動物公園総合整備事業				
関連する 指標等	指 標 等	実 績			
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	H30年度
	仙台クラシックフェスティバルの来場者数(延べ人数) ⇒平成30年度 37,000人を維持	平成27年度 実績37,000人	38,000人		
	市民の文化活動支援・助成・協力年間件数 ⇒平成30年度 360件	平成26年度 実績348件	371件		
	SMMA参加の市有施設の年間利用者数 ⇒平成30年度 120万人を維持	平成27年度 実績120万人	1,255,114人		
実施計画 における 年次計画	①文化振興事業				
	H28年度	H29年度	H30年度		
	文化振興事業における各取り組みの企画、実施、評価・改善				
	▶				
	②せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業				
H28年度	H29年度	H30年度			
事業の企画・実施・検証					
▶					
③ミュージアム連携事業					
H28年度	H29年度	H30年度			
共同広報事業、ミュージアム活性化事業、地域の知的資源活用推進事業					
▶					
④八木山動物公園総合整備事業					
H28年度	H29年度	H30年度			
アイアイ導入					
▶					
アイアイ・マダガスカル館整備					
▶					
(仮称)ふれあい動物園整備					
▶					
普及啓発活動・動物繁殖・環境エンリッチメント整備・情報発信等					
▶					

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回仙台国際音楽コンクールを開催(期間中総入場者数(関連事業含む)13,626人) ・「杜の都の演劇祭」を開催(総入場者数805人) ・「せんだい短編戯曲賞」や「10-BOX夏の学校」を実施(総参加者134人) ・市民能楽講座を実施(総入場者数473人) ・「東京2020応援プログラム」として4件の文化プログラム企画を申請 ・(公財)仙台市市民文化事業団に対する支援や助成を通して、市民の文化・芸術活動を促進(支援160件、助成143件、協力68件) ・復興公営住宅における音楽による復興応援や、「みやぎの『花は咲く』合唱団」の活動支援を実施 	○
	②せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台インプログレスを開催(180人参加) ・こどもアートひろばを開催(6,000人来場) ・仙台商人プロジェクトを開催(114人参加) ・高校生を対象に美術講座を開催(4回486人参加) ・アーティストや専門家によるトークイベントを開催(10回計607人参加) ・年2回印刷物発行、プロジェクト全体にかかる公開ミーティングを開催(2回209人参加) 	○
	③ミュージアム連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイト「見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局」を運営(参加館イベント情報等 計211件掲載、年間アクセス件数295,662件) ・イベントスケジュールを発行(2回7,500部) ・フリーペーパー「旬の見験楽学便」発行(10,000部) ・SMMAクロスイベントを実施(4事業) ・周遊イベント「SMMA見験楽学ツアー」(5件) ・共同イベント「ミュージアムユニバース」(2,110人来場) 	○
	④八木山動物公園総合整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい動物園竣工 ・JICA草の根技術協力事業として受託契約を締結、事業開始 ・クロサイ(雌1頭)導入 ・対州馬(雄1頭)、レッサーパンダ(雌1頭)の繁殖に成功 ※希少動物導入については、導入予定のアイアイが死亡したことが判明し、現在、同時に導入予定であったキツネザル(カンムリキツネザル)のみ輸入にかかる手続きを進めている。 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【文化振興事業】 市民や地域が文化芸術とつながる仕組みづくりや、様々な分野との連携にも積極的に取り組んでいく。</p> <p>【せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業】 これまでの実績を踏まえ、新たな作品制作等に取り組む。</p> <p>【ミュージアム連携事業】 地域にある文化資源の可視化や、活用の促進を図るイベントや情報発信に努める。</p> <p>【八木山動物公園総合整備事業】 希少動物の導入のために予定していた飼育舎の仕様等について再検討を行う。</p>		

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

1. 学びを多彩な活力につなげる都市づくり

(2) 学都・仙台の資源を多面的に生かすまちづくり

目 標	学都・仙台としての知的資源集積を多面的に生かすまちづくりを進め、都市づくりや地域の課題解決、雇用の場の創出、大学等や学生による市民力の発揮につなげます。				
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。				
個別事業名	①学都推進事業 ②大学連携地域づくり事業				
関連する指標等	指 標 等	実 績			
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	H30年度
	サテライトキャンパス公開講座の受講者数(延べ人数) ⇒平成30年度 2,100 人	平成22～26年度 実績 平均2,061人/年	1,866人		
実施計画における年次計画	①学都推進事業				
	H28年度	H29年度	H30年度		
	学都仙台コンソーシアムの活動支援				
	②大学連携地域づくり事業				
H28年度	H29年度	H30年度			
大学連携地域づくり支援・助成実施					
まちづくり同盟活動支援・助成実施					

個 別 事 業 内 容	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①学都推進事業	・学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座を実施(全56コマ、受講者数1,866人)	○
	②大学連携地域づくり事業	・加茂地区の「加茂ハッピータウン活動」を助成事業として選定、大学と連携し高齢者の活動実態調査や、子育て支援に繋がる地域マップの作製等を実施 ・まちづくり同盟活動の体制整備のため、大学生を中心に課題抽出等を行う会合を実施	○

主な課題及び今後の対応

【学都推進事業】
平成27年度までは、文部科学省の補助金を活用して実施していた復興大学事業の公開講座受講者数も実績に含んでいたが、平成28年度は予算がなく、復興大学事業の公開講座が開催されなかったため、その分受講者数が減少した。平成29年度からは新たに宮城県からの補助を受け、復興大学事業が再開しており、その分の講座数が増加している。そのため、平成30年度の目標達成に向けた受講者数の増加が見込まれる。
※過去の実績H23:2,292人、H24:1,927人、H25:1,896人、H26:2,241人、H27:2,792人

【大学連携地域づくり事業】
・加茂地区での事業を継続して助成するほか、29年度は新たに1地区の追加助成に向けて取り組む。
・まちづくり同盟の活動については、定期的な集まりを維持しながら活動機会と参加大学の拡大を図る。

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

1. 学びを多彩な活力につなげる都市づくり

(3) 地域と共に育む子どもたちの学ぶ力

目 標	家庭・地域・学校や関係機関等が連携し、子供の教育をめぐる問題等への支援体制や確かな学力を育む環境を整えるとともに、子どもたちが学ぶ意義や楽しさを知り、学ぶ喜びを地域で体験できる機会の充実を進めます。				
総 括	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。なお、「いじめ防止対策推進事業」は、いじめ防止に向けた対策を検討しているところであり、現時点での評価は行わない。				
個別事業名	①確かな学力育成事業 ②いじめ防止対策推進事業 ③学校教育施設整備事業 ④仙台自分づくり教育推進事業 ⑤放課後子ども総合プラン推進事業 ⑥放課後子ども教室推進事業 ⑦学校支援地域本部事業				
関連する 指標等	指 標 等	実 績			
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	H30年度
	標準学力検査の正答率が目標値と同等以上の小学校6年生及び中学校3年生の割合	平成27年度 国語76.1%/76.7% (小6 /中3) 算数・数学 68.5%/67.4% (小6/中3)	国語 72.3%/72.8% (小6 /中3) 算数・数学 64.9%/67.2% (小6/中3)		
	⇒平成30年度 国語78%、算数又は数学72%				
	「自分の夢をかなえるために、たくさん勉強する」と思う児童生徒の割合	平成27年度 小6・84.0% 中3・75.6%	小6:84.4% 中3:76.1%		
	⇒平成30年度 小6・87%、中3・78%				
放課後子ども教室参加児童数	平成26年度 59,781人	68,782人			
⇒平成30年度 64,700人					
学校支援ボランティア延べ人数	平成27年度 9万人	97,103人			
⇒平成30年度 11万人					

実施計画
における
年次計画

①確かな学力育成事業

H28年度	H29年度	H30年度
新「確かな学力育成プラン」策定		
小中学校接続・連携に関する調査研究		
標準学力検査等、教科指導エキスパート、学力サポートコーディネーター、家庭学習ノート、小1生活・学習サポート事業		

②いじめ防止対策推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
全市立中学校等に「いじめ対策専任教諭」等の配置		
「24時間いじめ相談専用電話」等相談体制の充実		
いじめ防止「きずな」キャンペーン等の啓発活動の展開		
「いじめ不登校対応支援チーム」等による、いじめ対応支援		

③学校教育施設整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
岩切小学校増築工事		
(仮称) 広瀬第二中学校・実施設計	建設工事	
(仮称) 七郷第二小学校・基本設計	実施設計	建設工事

④仙台自分づくり教育推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
「仙台自分づくり教育」事業の展開		
「スチューデントシティ」全小学校実施		
「ファイナンスパーク」全中学校実施		

⑤放課後子ども総合プラン推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
放課後子ども総合プラン運営委員会の開催		
サテライト室の整備		

⑥放課後子ども教室推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
放課後子ども教室推進事業の継続・拡充		

⑦学校支援地域本部事業

H28年度	H29年度	H30年度
全中学校区へ本部設置	本部運営・質の向上	

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①確かな学力育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的知識における期待正答率(目標値)と同等以上の割合が、75%を超えた学年と教科⇒小4(算)、中2(国) ・応用力における期待正答率(目標値)と同等以上の割合が、60%を超えた学年と教科⇒小4(国・社・算)、小5(国・社・算・理)、小6(国・社・理)、中1(国・社・数・理)、中2(国・社・数・英)、中3(国・社) ・「仙台市確かな学力研修委員会」において標準学力検査の結果分析を行い、目標値を下回っている内容を中心に授業改善のための提案授業の公開や指導事例の提案を実施 	△
	②いじめ防止対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・全市立中学校、仙台青陵中等教育学校及び鶴谷特別支援学校への「いじめ対策専任教諭」の各校1名配置を継続 ・市立小学校への「児童支援教諭」の配置を拡充 	—
	③学校教育施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・岩切小学校増築工事完了 ・(仮称)広瀬第二中学校・実施設計完了 ・(仮称)七郷第二小学校・基本設計完了 	○
	④仙台自分づくり教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全校の中学生を対象に職場体験活動を実施 ・「仙台自分づくり教育アワード」を開催 ・「たくましく生きる力」育成プログラムの研修会を実施 ・市内全小中学校で、仙台子ども体験プラザ事業を実施(児童8,294人、生徒8,162人) ・「自分づくり夢教室」を小中学校で実施(92校) 	○
	⑤放課後子ども総合プラン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども総合プラン運営委員会を4回開催し、「高学年児童受入れに向けた対応」をテーマとする提案書を作成 ・放課後児童クラブサテライト室を拡充(32小学校区に35箇所を新規整備) 	○
	⑥放課後子ども教室推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の実施拡充(新規3教室、計27教室) 	◎
	⑦学校支援地域本部事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部の増設(新規で9本部計85本部) ・市内小中学校に年度改訂版「学校支援の手引き」を配布 ・スーパーバイザーのスキルアップを目指した研修会を実施(全体で3回、各行政区1回実施) 	○
※「②いじめ防止対策推進事業」については、いじめ防止に向けた対策を検討しているところであり、現時点での評価は行わない。			
主な課題及び今後の対応	<p>【確かな学力育成事業】 標準学力検査における基礎的知識の正答率割合の伸びが少ないことが課題である。引き続き、大学と連携して結果分析等を進めるとともに、教職員等の提案授業への参加や報告書の活用を促す。</p> <p>【いじめ防止対策推進事業】 平成26年及び平成28年に次ぎ、平成29年4月にも市立中学校生徒の自死事案が発生した。引き続き、事案の詳細な調査・検証を進めるとともに、いじめ防止に万全を期す。</p> <p>【仙台自分づくり教育推進事業】 子どもたちの自己肯定感を高めるため各事業を推進するとともに、児童生徒の課題や今後の社会の動きとも関連した「たくましく生きる力」育成プログラムの授業プラン内容を検討する。</p> <p>【放課後子ども総合プラン推進事業】 小学校の余裕教室や民間物件の賃借等、多様な手法を組み合わせながら、放課後児童クラブサテライト室の整備を進める。</p> <p>【放課後子ども教室推進事業】 放課後児童クラブ等、他の事業との連携を推進し、支援者確保や実施環境の整備、関係者とのネットワークづくり等、継続して取り組む。</p> <p>【学校支援地域本部事業】 中学校区を単位とした学校支援地域本部を拡充するとともに、地域と連携して学校支援内容の質の向上やスーパーバイザーの育成、学校と地域の連携強化を図る。</p>		

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

2. 地域で支え合う心豊かな社会づくり

(1) 共生・健康社会づくり

目 標	孤立化を防ぐ地域のつながり、障害に対する理解、男女共同参画などの推進を図りながら、互いに尊重し合い、共に生きる地域社会づくりを進めるとともに、生涯を通じた健康づくりなど、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができる仕組みづくりを進めます。				
総 括	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。				
個別事業名	①鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業 ②男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業 ③市民健康づくり推進事業 ④総合的な介護予防推進事業 ⑤介護サービス基盤整備促進事業 ⑥地域支え合い推進事業 ⑦障害者差別解消 ⑧障害者グループホーム整備促進事業 ⑨障害者福祉センター整備事業 ⑩障害福祉サービス事業所整備促進事業				
関連する 指標等	指 標 等	実 績			
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	
	H30年度				
	本市の審議会等における女性委員の割合 ⇒平成32年度末で40%以上へ向上	平成26年度末 実績36.9%	37.90%		
	定期的に健康診断を受けている人の割合 ⇒平成31年度で93.6%へ向上	平成21年度 89.1%	79.50%		
	定期的ながん検診を受けている人の割合 ⇒平成31年度で下記の数値へ向上 ・胃がん(40歳以上)63.8% ・肺がん(40歳以上)45.9% ・大腸がん(40歳以上)45.8% ・乳がん(40歳以上)64.5% ・子宮頸がん(20歳以上)67.0%	平成21年度 胃がん(40歳以上) 42.9% 肺がん(40歳以上) 32.0% 大腸がん(40歳以上) 31.9% 乳がん(40歳以上) 46.1% 子宮頸がん(20歳以上) 40.1%	平成28年度 胃がん(40歳以上) 41.0% 肺がん(40歳以上) 30.0% 大腸がん(40歳以上) 35.0% 乳がん(40歳以上) 53.7% 子宮頸がん(20歳以上) 47.0%		
	自身が「健康である」と感じている高齢者の割合 ⇒平成31年度で80%以上に向上	平成25年度 男性75.5% 女性74.5%	76.40%		
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の定員数 ⇒平成29年度で4,470人に増加	平成26年度末 3,770人	4,508人		
	社会参加活動(町内会やボランティア活動等)をしている高齢者の割合 ⇒平成31年度で55%以上へ向上	平成25年 調査時 50.0%	49.60%		

障害者グループホームの定員数 ⇒平成30年度で1,290人に増加	平成27年度 990人	1,073人		
生活介護事業所総定員数 ⇒平成30年度で1,065人に増加	平成27年度 1,015人	1,062人		

①鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
第四工区（その1）整備		
	第四工区（その2）整備	
中央広場整備		
民間活用用地第二期整備		

②男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
男女共同参画せんだいプランに基づく事業の実施		
	プランの実施状況のフォローアップ・公表	

③市民健康づくり推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
市民健康診査実施		
重症化予防の取り組み等		
第2期いきいき市民健康 プラン前期評価に向けた 調査・検討	プランの中間評価 後期計画策定	プランの後期計画～

④総合的な介護予防推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
相談・支援事業		
介護予防に関する普及啓発		
二次予防対策者把握事業	介護予防把握事業	
元気高齢者・生活機能低下高齢者向け事業	「新しい総合事業」における介護予防事業	
モデル事業		

⑤介護サービス基盤整備促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく 介護サービス基盤の整備		第7期高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画に基づく 介護サービス基盤の整備

実施計画
における
年次計画

⑥地域支え合い推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
「新しい総合事業」検討	「新しい総合事業」実施	
モデル事業		
地域包括支援センター機能強化（専任職員配置（50センター））		

⑦障害者差別解消

H28年度	H29年度	H30年度
独自条例施行		
集中的な周知・啓発		
普及啓発・交流のための事業の実施		
相談体制の整備・紛争解決のための調整機関の設置		
意思疎通支援の拡充		

⑧障害者グループホーム整備促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
補助金交付による新規開設の促進		
新規開設のノウハウ普及を目的とした研修会		
保護者会等を対象とした研修会		
整備促進を目的としたネットワーク会議		
医療的ケア対応グループホーム等の運営費に対する補助		

⑨障害者福祉センター整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
(仮称)青葉障害者福祉センター整備に向けた調査・検討	基本設計・実施設計	

⑩障害福祉サービス事業所整備促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
新事業所整備工事	新事業所選定	補助協議
既存事業所改修設計	改修工事	新事業所整備工事

個別事業内容	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
	①鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第四工区建設工事その1 完了(H29.3) ・第四工区建設工事その2 設計完了(H28.10)、工事着手(H28.11) ・中央広場整備工事 完了(H28.2) ・民間活用用地第二期 売買契約締結(H28.6) 	○
	②男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市男女共同参画推進センターにおける学習・研修事業、市民活動団体の協働事業、活動スペースの提供等を実施 ・仙台市配偶者暴力相談支援センター事業を実施(電話・面接計2,355件、市民向け講座3回参加者計145人) ・防災・復興まちづくりへの女性参画促進に向けた人材育成プログラム「決める・動く2016」を実施(参加者26人) ・「仙台防災未来フォーラム2017」で「女性と防災まちづくり」等をテーマにパネル展示を実施 	○
	③市民健康づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎健診受診者数(35-39歳、75歳以上等):37,646人 ・20歳のデンタルケア受診者数:835人 ・歯周病健診受診者数:30歳 879人、40歳1,272人、50歳 1,137人、60歳1,199人、70歳 1,781人 ・食で健康サポート店登録店舗:56件 ・受動喫煙防止宣言施設:423施設 	△
	④総合的な介護予防推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の介護予防月間において普及啓発イベントを開催(参加者延べ6,465人) ・元気応援教室開催(参加者延べ534人) ・地域包括支援センターでの介護予防教室(参加者延べ17,926人) ・自主的に介護に取り組むグループの育成(新規団体14グループ) 	○
	⑤介護サービス基盤整備促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度選定済み施設(< >内は第6期(H27-29)整備計画数) 特別養護老人ホーム 3施設259床(計10施設738床) <700床> 介護老人保健施設 1施設100床(計4施設400床) <360床> 認知症対応型共同生活介護 12施設216床(計21施設382床) <360床> 小規模多機能型居宅介護 2事業所(計6事業所) <12事業所> 特定施設入居者生活介護 3施設175床(計6施設397床) <360床> ・緊急用ショートステイベッドとして、市内2施設に計2床の専用ベッドを確保(利用日数307日、稼働率42.05%) 	○

⑥地域支え合い推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体による訪問・通所型生活支援モデル事業実施団体への補助(18団体) ・ひとり暮らし緊急通報システムを設置(設置台数3,331台/うち新規667台) ・民間企業等との高齢者の見守り協定締結(締結先4件/うち新規2件) ・機能強化専任職員を全地域包括支援センターに配置 ・地域ケア会議開催(区主催39回、地域包括支援センター主催270回) ・市民、事業者、関係団体へ新しい総合事業の説明会を実施(46回参加者4,158人) 	○
⑦障害者差別解消	<ul style="list-style-type: none"> ・各区障害高齢課に相談員を1名ずつ配置(相談件数96件) ・仙台市障害者差別相談調整委員会を設置・運営(定例会1回) ・障害理解・啓発に係るシンポジウム(2回110名)及びワークショップ「ココロン・カフェ」を開催(6回237人) ・障害者差別解消・虐待防止連絡協議会を設置・開催(1回 参加30機関) ・職員対応要領に基づく庁内体制整備(新規採用職員研修参加者178名、管理職員研修参加者32人、保健福祉行政職員等各種研修参加者241人) 	○
⑧障害者グループホーム整備促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム新規開設事業者に対し、消防設備の設置費用や建築基準法の用途変更に伴う改修費用を助成(5件2,396千円) ・不動産団体や建設団体と連携し、グループホームの制度解説及び整備促進をテーマとした研修会を実施(3回参加者計250人) ・医療的ケア対応型グループホームを運営する事業者に対し、運営費を助成(1件6,220千円) 	○
⑨障害者福祉センター整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・旭ヶ丘駅前複合施設用地追加調査等(地盤調査・水質調査等)を実施 ・建設工法や周辺候補地の検討(建設可能性)調査の必要性について地元説明を実施 ・旭ヶ丘駅前複合施設候補地検討調査を実施 ※追加調査の依頼を受け、周辺候補地の建設可能性調査を行う必要が出てきたことから、当初の計画よりも遅れている。 	△
⑩障害福祉サービス事業所整備促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所の総定員数を47人に拡充 ・新事業所整備工事完了(障害者日中活動支援施設 あいむ鶴ヶ谷) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【市民健康づくり推進事業】 生活習慣病を予防し健康寿命を延ばすための食事・運動・休養といった健康づくりに取り組みやすい方法やツールの検討を進める。</p> <p>【介護サービス基盤整備促進事業】 第7期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のため、施設の入居申込状況調査や実態調査及び関係団体へのヒアリングを実施し、必要な施設整備量を検討する。</p> <p>【障害者差別解消】 障害理解促進サポーター養成事業について、28年度は先行事例の調査や類似事業の体験会実施にとどまったことから、具体的な事業化に向けモデル事業等を行う。</p> <p>【障害者グループホーム整備促進事業】 グループホーム利用者に十分なサービスをするために必要な人員配置となるよう、国に対して報酬単価の改定を要望する。また、新規開設時の助成、他業種・多職種とのネットワークを通じたグループホームの制度普及、整備促進を図る。</p> <p>【障害者福祉センター整備事業】 現整備用地を含め、周辺候補地に施設を建てた場合の課題を検討整理し候補地を絞り込んだ後、住民ワークショップを行い施設機能の整理を行う。なお、基本設計は平成30年度に行う見込みである。</p> <p>【障害福祉サービス事業所整備促進事業】 建物の構造上、大規模改修による「のぞみ苑」の長寿命化を図ることが難しくなったことから、関係者と協議をしながら今後の対応を検討する必要がある。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策				
2. 地域で支え合う心豊かな社会づくり				
(2) 子育て応援社会づくり				
目 標	出産・子育ての希望をかなえることができる環境を整えるとともに、子どもたちが遊びや多様な体験を通じてたくましく健やかに成長できる機会をつくるなど、地域社会全体で子育て家庭と子どもたちの成長を支える取り組みを進めます。			
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。			
個別事業名	①児童館整備事業 ②幼稚園の保育機能拡充支援事業 ③保育基盤整備推進事業 ④多様な保育サービスの充実 ⑤家庭に対する仕事と子育ての両立支援事業 ⑥妊娠・出産包括支援事業 ⑦企業等に対する仕事と家庭の両立支援推進事業 ⑧子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業 ⑨保育サービス相談員の配置による利用者支援事業 ⑩保育所による地域子育て支援事業			
関連する 指標等	指 標 等	実 績		
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度
	⇒平成30年度で475,433人へ増加	平成27年度 462,995人	496,827人	
	⇒平成31年度当初で19,927人へ増加	平成28年度 当初18,295人	19,339人 (平成29年度当初)	
	⇒平成30年度で4,655人に増加	平成27年度 4,433人	5,623人	
	⇒平成30年度で平成25年度実績より増加	平成25年度 3～5か月児 94.8% 1歳6か月児 96.1% 3歳児 91.9%	3～5か月児 95.9% 1歳6か月児 96.9% 3歳児 93.9%	
	⇒平成30年度で27,000人	平成29年度 開館予定	開館に向けて準備	
	⇒平成30年度で平成27年度水準を維持	平成27年度 125,545人	137,144人	

実施計画
における
年次計画

①児童館整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
(仮称) 東宮城野マイスクール 児童館整備工事		
若林区中央児童館改築工事		
	西多賀児童館改築工事	
落合児童館改築工事		
(仮称) 七郷第二児童館 基本設計	実施設計	建設工事

②幼稚園の保育機能拡充支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
認定こども園運営及び幼稚園預かり保育事業への助成		

③保育基盤整備推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
保育施設等整備		

④多様な保育サービスの充実

H28年度	H29年度	H30年度
延長保育、一時預かり、休日保育の実施		

⑤家庭に対する仕事と子育ての両立支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
若林区保育所併設型病後児保育施設開所・事業開始 ※平成28年度～29年度に病児保育事業開始		
すくすくサポート事業		

⑥妊娠・出産包括支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
母子保健総合相談体制の強化		
母子保健に係る他機関との連携強化		

⑦企業等に対する仕事と家庭の両立支援推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
啓発セミナー開催・リーフレット配布等		

⑧子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
(仮称) のびすく若林整備		開館・事業開始
子育て支援団体相互交流会開催・子育て支援者向け情報提供		

⑨保育サービス相談員の配置による利用者支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
保育サービス相談員による情報提供・相談支援及び効果検証		

⑩保育所による地域子育て支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
各保育所における相談指導・講座の実施		

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①児童館整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・東宮城野マイスクール児童館整備工事完了(平成29年4月開館) ・若林区中央児童館改築工事に着手 ・西多賀児童館改築工事に着手 ・落合児童館改築工事完了(栗生児童館と名称変更し平成29年3月開館) ・(仮称)七郷第二児童館基本設計完了 	○
	②幼稚園の保育機能拡充支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園から幼保連携型認定こども園へ移行(1園) ・幼稚園型認定こども園から幼保連携型認定こども園への移行(1園) ・全ての私立幼稚園(82園)で、預かり保育を実施(うち23園が保護者負担軽減制度を活用) 	○
	③保育基盤整備推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所の整備(施設数15箇所増/定員967人増。地方創生特区の指定による都市公園内保育所を含む) ・小規模保育事業(A型・B型・C型)の推進(事業数21箇所増、定員328人増) ・事業所内保育事業の推進(事業数4箇所増、定員33人増) 	○
	④多様な保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育(2時間以上)を新たに8箇所で実施 ・一時預かりを新たに保育所5か所、認定こども園5か所で実施 	○
	⑤家庭に対する仕事と子育ての両立支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市内5箇所目の病児・病後児保育事業実施施設を整備 ・病児・病後児保育事業実施施設を青葉区(市街地)に、1箇所整備(平成29年4月利用開始) ・すくすくサポート事業を実施(利用会員数3,064人、協力会員数483人、両方会員数128人、活動回数8,348回) 	○
	⑥妊娠・出産包括支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談の専任職員(母子保健コーディネーター)を各区及び宮城総合支所に1人ずつ配置 ・低出生体重児の発達や生育に関する相談を受ける職員の研修や、保護者向けの育児相談会を実施 ・のびすくにおいて助産師によるサロンを実施(23回) ・妊娠ほっとラインを拡充(不妊や不育なども含めた妊娠全般にわたる相談) 	○
	⑦企業等に対する仕事と家庭の両立支援推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催(123人) ・妊娠期から職場復帰までの支援制度をまとめたリーフレットを作成し、母子健康手帳の交付時に配布 ・入札参加資格者名簿登載者への格付評点の評価項目に、次世代育成支援対策推進法に基づく取組を追加(平成29年4月導入) 	○
	⑧子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・のびすく若林の整備に関する建設工事に着手、設置条例を改正、指定管理者を指定 ・「せんだい子育て支援者ネットワーク交流会2016」を開催 	○

<p>⑨保育サービス相談員の配置による利用者支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口や電話での相談(窓口5,985件、電話2,538件) ・子育て支援拠点等での出張相談会の開催(147件/個別相談者数633件) 	○
<p>⑩保育所による地域子育て支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て等に関する相談(16,837件) ・区役所、市民センター、近隣の保育所、児童館等へ、子育て支援センターに関する情報や地域の保育資源の情報などを提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施(参加人数8,561人) ・訪問型子育て支援事業を実施(6か所/相談件数3,798件) 	○
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【幼稚園の保育機能拡充支援事業】 預かり保育への新たな助成制度(連携施設設定加算)の活用を促し、保育所と同等の11時間以上の預かり保育を行う園を増加させるとともに、小規模保育施設等との連携(小規模保育事業等卒園後の受け皿)を促進する。</p> <p>【保育基盤整備推進事業】 今後の整備においては、工事費の増加や保育士不足等の影響を受けることが想定されるが、保育需要に対応した提供体制を確保するため保育基盤整備を進める。また、小規模保育事業、家庭的保育事業等については、卒園後の受け皿となる幼稚園・こども園・認可保育所等とのマッチングなど支援を行う。</p> <p>【多様な保育サービスの充実】 引き続き、保護者の就労形態の多様化等に対応した延長保育、一時預かり、休日保育の充実を図る。</p> <p>【子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業】 「のびすく若林」の駐車場不足に対応するため、公共交通機関等の利用促進、閉庁日のイベント実施等、運用上の工夫を行う。</p> <p>【保育サービス相談員の配置による利用者支援事業】 子育て支援拠点については、開催回数の増やすことを検討する。また、開催実績のない支援拠点については、出張相談会開催の検討を依頼する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

2. 地域で支え合う心豊かな社会づくり

(3) 安全で安心な市民の暮らしを支える取り組み

目 標	震災の教訓を踏まえた災害に強い都市づくりや、危機管理体制の充実を図るとともに、犯罪や交通事故などの地域課題に対応し、安全で安心な市民生活を守るための対策を推進します。			
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。			
個別事業名	①水道施設災害対策事業 ②下水道地震対策事業 ③都市ガス防災対策強化事業 ④下水道総合浸水対策事業 ⑤災害対策本部等情報連絡体制等強化事業 ⑥消防団強化緊急事業 ⑦防災意識の普及啓発強化事業 ⑧地域防災リーダー養成・支援事業 ⑨仙台版防災教育推進事業 ⑩地域安全対策事業 ⑪児童生徒の安全確保事業			
関連する 指標等	指 標 等	実 績		
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度
	水道管の耐震化率 <small>水道管の耐震化率＝耐震性を有する水道管路(※₁)の延長/ 水道管路の総延長×100</small>	平成26年度末 86.5%	86.8%	
	⇒平成30年度末で87.9%以上へ向上			
	下水道管の耐震化率 <small>下水道管の耐震化率＝耐震性を有する下水道管きよの延長/ 特に優先的に耐震化を必要とする下水道管 きよの延長×100</small>	平成26年度末 33.8%	36.6%	
	⇒平成30年度末で37.7%以上へ向上			
	ガス導管の耐震化率 <small>ガス導管の耐震化率＝耐震性を有するガス導管の延長/ガス 導管の総延長×100</small>	平成26年度末 84.6%	85.5%	
	⇒平成32年度末で87.7%以上へ向上			
10年確率降雨対応整備面積普及率	平成26年度末 33.5%	34.3%		
⇒平成30年度末で35.7%以上へ向上				
仙台市地域防災リーダー人数	平成27年度 584人	平成28年度 638名		
⇒平成30年度で600人を維持				
特殊詐欺の発生件数	平成27年 219件	平成28年 159件		
⇒平成32年中で160件以下に減少				

子どもを対象とした声かけ事案等の発生件数	平成27年 251件	平成28年 287件		
⇒平成32年中で190件以下に減少				
学校ボランティア防犯巡視員登録者数(延べ人数)	平成27度末 6,049人	6,140人		
⇒平成30年度で6,150人以上を確保				

※1材質や継手の強度等により、一定の耐震性を有すると評価できる水道管路

実施計画
における
年次計画

①水道施設災害対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
	浄水場・配水池等の基幹施設の耐震化	
	老朽化した送配水管路の更新・配水幹線等の整備	
	広域水道の単独配水区域への送水施設整備	
	災害時給水施設の設置	

②下水道地震対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
	管きよの耐震化（設計・工事）	
	浄化センター・ポンプ場の耐震化（設計・工事）	

③都市ガス防災対策強化事業

H28年度	H29年度	H30年度
	経年管入替工事	

④下水道総合浸水対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
	雨水施設の整備（設計・工事）	
	土のう配布、止水板設置費補助	
		浸水想定区域図改訂

⑤災害対策本部等情報連絡体制等強化事業

H28年度	H29年度	H30年度
災害時情報発信システム整備	運用	
研修・訓練プログラム作成	プログラムによる研修・訓練の実施	
	災害情報センター運用	
	防災行政用無線整備	

⑥消防団強化緊急事業

H28年度	H29年度	H30年度
無線通信機器の配備		
	職務報酬・運営補助金見直し	
	安全装備等（活動服・救命胴衣・防火衣）の充実強化	
	教育訓練の充実強化	

⑦防災意識の普及啓発強化事業

H28年度	H29年度	H30年度
水害・土砂災害ハザードマップの見直し		
土砂災害警戒区域の指定地域に対する説明会開催		
浸水想定区域に対する説明会開催		

⑧地域防災リーダー養成・支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
SBL新規養成		
SBLの活動支援（バックアップ講習会の実施等）		

⑨仙台版防災教育推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
研究推進取組発表校の事例実践		
研究開発学校における実践		
防災教育副読本の改訂・活用		

⑩地域安全対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
安全安心街づくり基本計画に基づく施策の実施		

⑪児童生徒の安全確保事業

H28年度	H29年度	H30年度
学校防犯巡視員による巡視		
学校ボランティア防犯巡視員による巡視		
インターネット巡視員によるインターネット巡視		

個別事業内容	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
	①水道施設災害対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した送配水管路を更新し、管路の耐震性を向上（配水支管更新28.0km） ・広域水道の単独配水区域である坪沼配水所系へ中原浄水場からの送水を可能とする送水管を整備（全6.4km） ・指定避難所である市立小学校に災害時給水栓を設置（総設置数78校（H28年度は上杉山通小学校ほか14校に設置）） 	○
	②下水道地震対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・管路施設の耐震化の工事を実施 ・南蒲生幹線の複線化工事を実施 ・六丁目ポンプ場（ポンプ棟）、米ヶ袋ポンプ場（沈砂池・ポンプ室）の耐震化を実施 	○
	③都市ガス防災対策強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・埋設年や震災被害想定を検証したリスク評価に基づき、計画的にポリエチレン管等への入れ替え工事を実施（入替発注延長数14.8km） ・防災ブロックにかかる供給設備の定期点検及び整備を実施（路線バルブ点検数2,730基） 	○
	④下水道総合浸水対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な浸水対策施設の整備を継続実施（長町第1雨水ポンプ場ポンプ設備、仙石排水ポンプ場は完了） ・復興交付金事業を活用した浸水対策施設の整備を継続実施 ・土のうステーション設置及び止水板等設置工事費補助金交付制度の創設 	○

⑤災害対策本部等情報連絡体制等強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市災害時情報発信システムを整備 ・庁内の災害対応に関する研修の実施状況を把握し、研修・訓練プログラムの素案を作成 ・コミュニティ・センター、福祉避難所、津波避難施設等に防災行政用無線(半固定型無線装置)を整備(16基) 	○
⑥消防団強化緊急事業	<ul style="list-style-type: none"> ・無線通信機器配備(273台)、活動服の更新(903着)、救命胴衣の配備(301着) ・宮城県消防学校への入校(133名(基礎教育101名、専科教育7名、幹部教育19名、特別教育6名)) ・「職務報酬・運営補助金」の増額見直しを実施 	○
⑦防災意識の普及啓発強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「せんだい水害・土砂災害ハザードマップ」の差替版作成 ・土砂災害警戒区域の追加指定地域の個別説明会実施 ・洪水浸水想定区域内の指定避難所運営委員会を対象に、避難所運営マニュアルの説明会を実施 	○
⑧地域防災リーダー養成・支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・54人の地域防災リーダー(SBL)を新規養成 ・平成24～27年度に養成したSBL 584名を対象にバックアップ講習会を実施 ・各区における町内会等とSBLの連携強化を目的とした各区毎のバックアップ講習会を実施 	○
⑨仙台版防災教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本30,000冊を発行(小学校1～3年用、小学校4～6年用、中学校用各10,000冊) ・各校の防災教育の充実を図るために、研究推進取組発表校を31校指定し、研究推進取組発表校発表会を開催 ・文部科学省から指定を受けた研究開発校(七郷小学校)の研究成果等を活かした「仙台版防災教育実践ガイド」を作成し、各校に配付 	○
⑩地域安全対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯活動団体への助成(14件) ・防犯出前講座の実施(94回、2,688人) ・防犯カメラ設置モデル事業の実施(設置台数20台、補助額300万円) ・空き家の所有者等への助言・指導(366件) ・歩行喫煙等防止の街頭啓発キャンペーン回数(13件) 	○
⑪児童生徒の安全確保事業	<ul style="list-style-type: none"> ・警察官OB27名を学校防犯巡視員「仙台・まもらいだー」として委嘱し、校地内外の巡視活動を実施(延べ11,971校巡回) ・学校ボランティア防犯巡視員登録(6,140人) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【災害対策本部等情報連絡体制等強化事業】 国のガイドラインや仙台市地域防災計画の改正等を反映させるため、より迅速かつ確実な情報発信ができるシステムの改修や機能強化を実施する。加えて、新たに協定を締結した福祉避難所等へ防災行政用無線を整備する。</p> <p>【地域防災リーダー養成・支援事業】 活動を辞退したSBLの補充のため、50～100名程度の新規養成を行う。また、女性・若い世代が養成講習を受講しやすい環境づくりに努める。</p> <p>【地域安全対策事業】 子どもを対象とした声かけ事案等の発生件数が増加しており、子どもが被害者となる犯罪の抑制に向けた取り組みを充実する必要がある。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(1) 低炭素・資源循環都市づくり

目 標	都市基盤・都市構造や市民生活・経済活動の中に低炭素化や資源循環、災害時におけるエネルギー確保の仕組みが備わった都市づくりと、これを支える人づくりを進めます。				
総 括	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。				
個別事業名	①低炭素都市づくり推進事業 ②エネルギー自律型システム推進事業 ③コミュニティサイクル事業 ④ごみ減量・リサイクル推進事業 ⑤せんだいE-Action推進事業				
関連する 指標等	指 標 等	実 績			
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	H30年度
	温室効果ガス排出量 ⇒平成32年度に平成22年度比で0.8%以上削減(7,640千t-CO ₂ /年以下)	平成22年度 7,705千t-CO ₂ /年	平成27年度速報値 8,091千t-CO ₂ /年 ※H28年度の温室効果ガス排出量は、H31年度に集計が完了するため、平成27年度速報値で目標の達成度を評価している。		
	民間防災拠点への再生可能エネルギー設備導入件数 ⇒平成28年度～平成30年度で合計3件以上	平成27年度 実績1件	4件		
	創エネルギー導入促進助成制度による指定件数 ⇒平成28年度～平成30年度で合計3件以上	平成27年11月 制度創設	1件		
	家庭用エネファーム・エコウィルの設置台数 ⇒平成28年度～平成30年度で合計1,000台以上	平成27年度 174台	174台		
	業務用GHP・ガス吸収式冷温水発生機・コージェネレーションシステムの導入実績(設備能力) ⇒平成28年度～平成30年度で合計36,800kW以上(GHP・ガス吸収式冷温水発生機36,000kW、コージェネレーションシステム800kW)	平成27年度 13,802kW	13,538kW		
	コミュニティサイクル1日あたり平均回転数 ⇒平成30年度で現状以上を維持	平成26年度 実績1.33	1.94		
	ごみ総量 ⇒平成32年度で360,000t/年以下に減少	平成26年度 385,863t/年	376,033t/年		

燃やすごみの量 ⇒平成32年度で305,000t/年以下に減少	平成26年度 実績 333,424t/年	325,903t/年		
リサイクル率 ⇒平成32年度で35%以上に増加	平成26年度 実績29.9%	29.3%		
1人1日あたりの家庭ごみの量 ⇒平成32年度で450g以下に減少	平成26年度 実績489g	467g		
「せんだいE-Action」啓発イベント 及び3E推進企画毎年度参加者数 ⇒平成30年度で3,000人以上に増加	平成27年度 1,827人	1,650人		

①低炭素都市づくり推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
自然環境保全、都市機能集約・最適化、分散型エネルギー活用等		
環境負荷の小さい交通手段の利用促進		
熱エネルギー有効活用補助金等による省エネ・創エネ・蓄エネの普及拡大		
気候変動影響リスクの低減に向けた情報収集・共有・提供・熱環境改善等		
環境負荷低減の「見える化」、キャンペーン、教育等		
仙台市役所の省エネ・創エネ・蓄エネ化推進		

②エネルギー自律型システム推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
民間事業者と連携したエネルギーマネジメントの取り組み推進		
事業者等への助成による分散型エネルギーの創出、研究開発・実証実験施設の立地促進		
田子西・荒井東のエコモデルタウン事業運用状況の検証・横展開モデルの検討		
防災拠点への再生可能エネルギー設備等導入促進		
次世代エネルギー市民向けイベントの開催		
家庭用のエネファーム・エコウィルの普及促進		
業務用GHPやガス吸収式冷温水発生機、コージェネレーションシステムの普及促進		
市有建築物への都市ガス普及施策の実施		

③コミュニティサイクル事業

H28年度	H29年度	H30年度
コミュニティサイクルの運営		

④ごみ減量・リサイクル推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
市民・事業者に対するごみ減量・リサイクルの広報啓発		
ごみ減量・リサイクル施策の推進・拡充		

⑤せんだいE-Action推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
3E推進地区の拡大		
イベント開催		

実施計画
における
年次計画

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①低炭素都市づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所への次世代自動車EV・PHV 2台導入(2.5(t-CO₂/年)削減) ・熱エネルギー有効活用導入補助(323件、199.5(t-CO₂/年)削減) ・低炭素ボイラーへの転換補助(ボイラー 9基転換、184.5(t-CO₂/年)削減) ・せんだい環境学習館たまきさんサロンにおける環境学習の支援等(利用者数4,274人、環境学習プログラム受講数121件) 	○
	②エネルギー自律型システム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・民間防災拠点への再生可能エネルギー設備の導入(ベガルタ仙台トップチームクラブハウス、ちゃいるどらんど岩切保育園、あすと長町こぶたの城保育園、みやぎ生活協同組合本部) ・創エネルギー導入の促進を助成(指定件数1件) ・岩切小学校、宮城野小学校のガス設備工事を実施 	○
	③コミュニティサイクル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ポート数(6箇所増設 計42箇所) ・自転車(120台増 計315台を平成29年4月より配置) ・会員登録数(5,569人増、計23,332人) 	◎
	④ごみ減量・リサイクル推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン仙台推進員と市職員による家庭ごみ排出実態調査を実施 ・市内コンビニと連携した包装削減及び啓発活動を実施 ・商工会議所と連携した広報(経済団体や企業向け啓発強化) ・市内プロスポーツ3団体と連携した啓発活動 ・焼却工場における搬入物(事業ごみ)検査(3回)及び適正排出指導 ・事業系紙類回収拠点の拡充(4か所→21か所) ・事業系共同資源物回収庫設置費等補助(2件) 	○
	⑤せんだいE-Action推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンの普及や打ち水イベント等の啓発を実施(イベント参加者数1,446人) ・伊達な節電所キャンペーンを実施(参加者数 204人、総節電量 595,543kWh) ・環境ウェブサイトたまきさんの運営(アクセス数 105,130件) 	△
主な課題及び今後の対応	<p>【エネルギー自律型システム推進事業】 創エネルギー導入促進助成制度については、制度活用に向けた掘り起こしを行う。また、民間防災拠点への再生可能エネルギー設備の導入補助の申請時に、防災拠点施設への指定や地域防災訓練への参加に向けた地元町内会との協議を義務付ける。加えて、環境負荷の少ない都市ガスの普及促進に取り組む。</p> <p>【コミュニティサイクル事業】 新規ポート拡大のため、民間企業や店舗(コンビニ)等に対してポート設置の協力を求める。</p> <p>【ごみ減量・リサイクル推進事業】 更なるごみ減量・リサイクル推進のため、引き続き「WAKE UP(ワケアップ)!!仙台」キャンペーンを展開し、市民・事業者に対して啓発するとともに、事業ごみについては、展開検査の拡充等、新たな施策についても効率的・効果的に進めていく。</p> <p>【せんだいE-Action推進事業】 啓発イベントの参加者数は増加したが、伊達な節電所キャンペーン参加者数が減少したため全体のイベント等参加者数が減少した。平成29年度は、環境関連の大規模イベントに出展し啓発を行うとともに、伊達な節電所キャンペーンについて、家庭への参加呼びかけや創エネ部門の積極的な周知を行う。</p>		

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(2) 自然と調和した杜の都の都市個性を高める土地利用の推進

目 標	杜の都にふさわしい都市景観の整備や公共施設をはじめとする身近な空間の緑を育み、自然環境と都市機能が調和した土地利用の推進を図ります。				
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。				
個別事業名	①市民連携農業推進事業 ②都市緑化推進事業 ③市街地みどりの回廊づくり事業 ④青葉通再整備事業				
関連する 指標等	指 標 等	実 績			
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	
	レクリエーション農園設置数 ⇒平成30年度末で45農園以上に増加	平成27年度 39農園	38農園		
	学童農園開設数 ⇒平成30年度末で82農園以上に増加	平成27年度 79農園	80農園		
みどりの総量(緑被率) ⇒平成31年度で平成26年度比維持・向上	平成26年度 79.3%	-			
実施計画 における 年次計画	①市民連携農業推進事業				
	H28年度	H29年度	H30年度		
	レクリエーション農園新設時補助(既設修繕補助併用)、利用促進広報				
	学童農園設置者に対する助成、学校等への活用促進				
	収穫まつり開催				
	農あるふるさとづくり支援				
	②都市緑化推進事業				
	H28年度	H29年度	H30年度		
	街路緑化の実施				
	泉中央駅前花壇等における花の修景				
	民有地緑化助成(生垣・緑化木・花壇・花いっぱい・記念樹)				
	③市街地みどりの回廊づくり事業				
H28年度	H29年度	H30年度			
青葉通等における街路樹の補植・改植					
仙台駅前ペDESTリアンデッキ・定禅寺通緑地における花の修景					
民有地緑化助成(建築物緑化・街かど緑化)					
西公園再整備					

④青葉通再整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
	(街並みルールの運用)	
	景観地区等による街並みの誘導	
	(仙台駅前の良好な広告物景観の創出)	
仙台駅前の良好な広告物景観のための取り組み検討		良好な広告物景観の誘導
	(第1期(東二番丁通り～西公園通)再整備)	
第1期 工事		
	(第2期(駅前通～東二番丁通り)再整備)	
	第2期 設計・工事	

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①市民連携農業推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業協力農園への入園料補助を実施(80農園、小・中学校、幼稚園、保育園66校で実施) ・農業園芸センターみどりの杜収穫まつりの開催(来場者数9,709人) ・農あるふるさとづくり支援事業を実施(補助事業採択件数3件) 	○
	②都市緑化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・街かど緑化助成を実施(1件) ・生垣づくり助成を実施(157件、2,237m、14m/件) ・緑化木植栽助成を実施(2件) ・花壇づくり助成を実施(281件、18,811㎡、67㎡/件) ・花いっぱいまちづくり助成を実施(7件、834㎡、119㎡/件) ・記念樹交付を実施(3,251件) 	○
	③市街地みどりの回廊づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹植栽工事を実施(仙台駅前ペDESTリアンデッキ) ・花の修景を実施(仙台駅前ペDESTリアンデッキ・定禅寺通緑地) ・街かど緑化助成を実施(1件) ・再整備工事を実施(西公園) 	○
	④青葉通再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・一番町工区約230mのうち、約160m施工完了(第1期再整備) ・植栽未了のケヤキ26本のうち13本植栽完了(第1期再整備) ・第2期再整備は基本設計を実施 ・青葉通まちづくり協議会において各種イベントや青葉通まちづくり塾を開催 ・街並み形成ガイドラインにもとづく良好な景観の誘導(景観地区認定申請は7件) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【都市緑化推進事業】 泉中央地区の緑化重点地区への指定に向けた検討を進めるとともに、緑化助成制度の周知・啓発を強化し、民有地緑化を促進する。</p> <p>【市街地みどりの回廊づくり事業】 緑化助成制度の周知・啓発を強化し、都心部の民有地緑化を促進する。また、西公園の再整備推進、民間事業者誘致などにより公園活性化に取り組む。</p> <p>【青葉通再整備事業】 「青葉通再生庁内連絡会議」において第1期再整備の総括等を行い、今後の取組みを検討する。また、青葉通将来ビジョン作成や部会制導入の検討も含む協議会の主体的な取組みを本格化させる。</p>		

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(3) 機能集約と地域再生による持続的な発展を支える都市構造の形成

目 標	土地利用と交通政策の一体的推進などにより、機能集約型市街地の形成を図るとともに、地域の特性や課題に応じた生活環境の改善に向けた取り組みを進めます。				
総 括	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。				
個別事業名	①機能集約型まちづくり推進事業 ②道路空間利活用推進事業 ③ストック活用型都市再生推進事業 ④若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業 ⑤郊外居住地域における暮らしの環境形成事業 ⑥まち再生・まち育て活動支援事業				
関連する指標等	指 標 等	実 績			
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	
	地下鉄沿線区域の夜間人口 ⇒平成32年度で平成27年度比増加	平成27年度 35.2万人	35.5万人 (H28)		
	リノベーションスクールにおける民間不動産の対象物件数 ⇒平成29年度末で5件以上に増加	平成27年度末 0件	5件		
	リノベーションスクールにおける公共空間の対象物件数 ⇒平成29年度末で2件以上に増加	平成27年度末 0件	3件		
	薬師高砂堀通りの賑わいづくりイベント開催支援による交流人口(参加者)数 ⇒平成28年度～平成30年度で合計7,500人以上	平成28年度から新規実施	0人		
実施計画における年次計画	①機能集約型まちづくり推進事業				
	H28年度	H29年度	H30年度		
	機能集約型市街地の形成			→	
	都市構造の調査・分析 居住動態の調査・分析 誘導施策の立案		→	都市機能の誘導 居住の誘導	
			→ 新都市計画マスタープラン に向けた調査・検討		
	②道路空間利活用推進事業				
	H28年度	H29年度	H30年度		
	→ 定禅寺通り活用 (オープンカフェ等実施)				

③ストック活用型都市再生推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	リノベーションスクールの開催	成果を踏まえたあり方検討

④若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業

H28年度	H29年度	H30年度
	薬師高砂堀通りの魅力と賑わいづくり	
	高砂堀紹介による若林の特長を感じる空間づくり	
	空き家等を活用したまちづくり検討	

⑤郊外居住地域における暮らしの環境形成事業

H28年度	H29年度	H30年度
調査		対応の方向性検討

⑥まち再生・まち育て活動支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
		地域主体のまちづくり活動の支援

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①機能集約型まちづくり推進事業	・都市構造及び居住動態の調査・分析を実施	○
	②道路空間利活用推進事業	・国家戦略特別区域 区域計画(泉中央、一番町)が認定 ・一番町、泉中央、定禅寺通においてオープンカフェ等のイベントを実施	○
	③ストック活用型都市再生推進事業	・せんだい都市戦略会議(セミナー)開催(計4回) ・リノベーションスクール(実践型ワークショップ)開催 ・せんだい家守講座(実践型ワークショップ)開催	○
	④若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業	・薬師高砂堀通りの活用策及び高砂堀案内看板の設置について、地下鉄東西線関連薬師堂駅周辺地区まちづくり協議会との意見交換会を実施 ※平成28年度は薬師高砂堀通りの賑わいづくりイベントの開催なし。	△
	⑤郊外居住地域における暮らしの環境形成事業	・郊外居住地域における庁内検討会の開催(2回)	○
	⑥まち再生・まち育て活動支援事業	・荒井東地区の地元まちづくり団体を支援し、「都市再生整備計画」の策定や、「都市利便増進協定」を締結	○

主な課題及び今後の対応	<p>【道路空間利活用推進事業】 交通管理者や地域と調整・連携を図りながら定禅寺通における利活用の検討を進める。</p> <p>【ストック活用型都市再生推進事業】 遊休不動産を所有する不動産オーナーや起業者を対象としたリノベーションまちづくりに関する情報発信を継続するとともに、まちづくりに携わる意欲のある人材の発掘・育成を図るためのセミナーや実践型ワークショップを開催する。</p> <p>【若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業】 賑わいづくりイベント開催に向けた地域のニーズやキーパーソン把握が課題である。今後も地元関係者や関係するNPO等と意見交換を実施し、まちづくりに向けた地域の意識醸成を図る。</p> <p>【郊外居住地域における暮らしの環境形成事業】 平成29年度から開始された「仙台市郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト」の進捗状況を注視し、今後の展開を検討する。また、個別の取り組みとして八木山地区にて既存住宅の流通促進に向けた住宅活用セミナー・相談会を開催する。</p> <p>【まち再生・まち育て活動支援事業】 荒井東地区における道路等の維持管理や活用方法等に関する協議・調整等の支援を行う。また、他地区における公園や道路等の公共空間の利活用や維持管理方法について課題等を検討する。</p>
-------------	---

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(4) 誰もが利用しやすく都市活力を高める交通基盤づくり

目 標	高齢者や障害者などにもやさしい公共交通を中心とした交通体系を構築し、維持コストや環境負担の軽減、地域生活の安心や都市の成長などを重視した交通基盤の整備を進めます。																								
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。																								
個別事業名	①新たな都市交通政策推進事業 ②公共交通利用促進事業																								
関連する 指標等	指 標 等	実 績																							
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度 H30年度																					
	地下鉄・路線バス・JR線の利用者数 ⇒平成28～30年度で各前年度実績より増加	523千人/日 (H27年度)	560千人/日 (概算値)																						
実施計画 における 年次計画	<p>①新たな都市交通政策推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">新たな都市交通政策検討・策定</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">各種施策の検討・実施</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">交通行動実態調査</td> <td style="text-align: center;">交通行動実態調査・分析</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">地域公共交通調査・検討</td> </tr> </tbody> </table> <p>②公共交通利用促進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">運賃施策（100円均一、200円均一）の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">モビリティ・マネジメント等の実施</td> </tr> </tbody> </table>				H28年度	H29年度	H30年度	新たな都市交通政策検討・策定	各種施策の検討・実施		交通行動実態調査		交通行動実態調査・分析	地域公共交通調査・検討			H28年度	H29年度	H30年度	運賃施策（100円均一、200円均一）の実施			モビリティ・マネジメント等の実施		
H28年度	H29年度	H30年度																							
新たな都市交通政策検討・策定	各種施策の検討・実施																								
交通行動実態調査		交通行動実態調査・分析																							
地域公共交通調査・検討																									
H28年度	H29年度	H30年度																							
運賃施策（100円均一、200円均一）の実施																									
モビリティ・マネジメント等の実施																									

個	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
別 事 業 内 容	①新たな都市交通政策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・せんだい都市交通プランの進捗状況の確認と課題の整理 ・交通行動実態調査の実施に向けた企画準備調査の実施 ・地域における持続可能な公共交通確保の検討に向けた基礎的資料の収集 	○
	②公共交通利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「地下鉄200円均一運賃」、「東西線結節駅周辺バス100円均一運賃」を東西線開業時から継続的に実施 ・大学と協働により作成した交通情報マップを大学生に配布し、公共交通での通学を促す「大学生モビリティマネジメント(MM)」を実施(7大学) ・転入者向けに公共交通情報を掲載した「せんだいスマートグッズ」を配布する「転入者MM」を実施(約19,000配布) ・卸町地区の企業に対する地下鉄東西線利用のPRを実施(2回) ・交通フェスタを開催 	○
主な課題及び今後の対応		<p>【新たな都市交通政策推進事業】 持続可能な地域交通を確保していくため、他都市の事例なども参考とし、関係機関と連携を図りながら対応策を検討する。</p> <p>【公共交通利用促進事業】 大学生MMを実施していない大学に対し、実施を働きかけるとともに、企業の従業員に対しても公共交通利用促進の働き掛けを実施する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(1) 地域産業の飛躍と競争力の拡大

目 標	本市経済を支える中小企業の競争力強化や商店街の魅力向上に資する取り組みを推進するほか、農商工連携、農業の6次産業化などを支援し、地域産業の振興を図ります。																												
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。																												
個別事業名	①中小企業人材確保・育成事業 ②中小企業経営基盤強化事業 ③働く女性の活躍推進事業 ④雇用対策事業 ⑤中心部商店街活性化促進事業 ⑥農業経営体育成支援事業 ⑦農食ビジネス推進事業																												
関連する 指標等	指 標 等	実 績																											
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	H30年度																								
	中小企業展示商談会等によるマッチング件数 ⇒平成28年度～平成30年度で合計600件以上	平成26年度 173件	240件																										
	認定農業者数 ⇒平成30年度で315経営体に増加	平成27年度 269経営体	260経営体																										
	農地の集積・集約化における農地利用集積率 ⇒平成30年度で74%に増加	平成27年度 68%	66%																										
	農食ビジネス商品開発支援における商品化・事業化支援件数 ⇒平成28～30年度で合計18件以上	平成27年度 5件	6件																										
	農商工連携・6次産業化支援案件等の売上高 ⇒平成30年度で平成27年度比6%増加	平成27年度 約250百万円	30%増加																										
実施計画 における 年次計画	①中小企業人材確保・育成事業 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">地元企業の魅力発信・若者への情報提供</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">人材確保・育成・定着等の支援</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">学生の地元定着・UIJターン就職促進</td> </tr> </tbody> </table> ②中小企業経営基盤強化事業 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">経営課題解決、経営革新・新事業展開の支援</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">販路開拓支援</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">支援拠点の整備</td> </tr> </tbody> </table>					H28年度	H29年度	H30年度	地元企業の魅力発信・若者への情報提供			人材確保・育成・定着等の支援			学生の地元定着・UIJターン就職促進			H28年度	H29年度	H30年度	経営課題解決、経営革新・新事業展開の支援			販路開拓支援			支援拠点の整備		
H28年度	H29年度	H30年度																											
地元企業の魅力発信・若者への情報提供																													
人材確保・育成・定着等の支援																													
学生の地元定着・UIJターン就職促進																													
H28年度	H29年度	H30年度																											
経営課題解決、経営革新・新事業展開の支援																													
販路開拓支援																													
支援拠点の整備																													

③働く女性の活躍推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	(企業及び働く女性に向けた取り組み)	
	女性活躍推進計画に基づく事業の実施	
	推進計画の実施状況のフォローアップ・公表	
	(事業主としての仙台市の取り組み)	
	特定事業主行動計画に基づく事業の実施	
	行動計画の実施状況のフォローアップ・公表	

④雇用対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
	各種就業支援	

⑤中心部商店街活性化促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
エリアマネジメント組織 設立支援		
	エリアマネジメント組織の自主運営支援	

⑥農業経営体育成支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
	多様な農業経営体の育成・確保に向けた取り組みの実施	
	地域農業経営再開復興支援	
	農地の集積・集約化推進	
	生産調整の推進	
	女性農業者（アグリヒロイン）育成	
	非主食用米の作付促進	

⑦農食ビジネス推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	農工商連携マッチング・販路拡大支援	
	商品開発支援	
	ブランド化モデル事業	
	6次産業化人材育成・事業化支援	
	地産地消推進	

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①中小企業人材確保・育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「仙台で働きたい！フリーペーパー」発行(年4回計35,000部) ・「仙台で働きたい！イベント」の実施(年2回)、保護者向けセミナー(53人)、高校生親子セミナー(8人) ・WISE(学生による地元企業の魅力発信):学生記者31人、受入企業47社 ・若手社員定着支援事業(1回開催:企業経営者50人、学生170人) ・UIJターン就職促進(2回開催:参加企業43社、参加者62人) 	○
	②中小企業経営基盤強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・都市間連携販路開拓支援事業として、連携9都市支援機関コーディネーター会議の開催等を支援 ・首都圏等への地域産品等販路開拓支援事業として、第82回東京国際・ギフトショー秋2016等への出店を支援 ・第3回新東北みやげコンテスト併設の商談会にて商談(58件) 	○

③働く女性の活躍推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 女性のキャリアアップを支援する女性職員チャレンジセミナーを実施 企業等における女性活躍促進に向け、地域の経済団体や金融機関、国の機関等との情報共有、意見交換等を行う協議会を設置 企業向けダイバーシティ推進シンポジウムを開催(191人参加) 企業における女性活躍推進を支援する「企業の未来プロジェクト2016」を実施(参加23社) 	○
④雇用対策事業	<ul style="list-style-type: none"> キャリアコンサルティングを実施(215人) 出前セミナー、キャリア相談を実施(17回1,064人) ジョブトライアル(2回)、研修を実施(22社30人) 合同企業説明会等を実施(6回、延べ678社2,656人参加) 緊急雇用創出事業を実施(雇用創出数22人) 事業復興型雇用創出助成金事業を実施(雇用創出数680人) 	○
⑤中心部商店街活性化促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 中心部商店街活性化パートナーシップ準備協議会の運営を支援 起業家のテストマーケティングの機会として、TRY6チャレンジShop&Café、まちくるマルシェ、プレミアムグッズマルシェ等を実施 TRY6チャレンジShop&Café(10組出店 7,809人が来店) 	○
⑥農業経営体育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 集落営農組織の法人化を支援(1組織、助成金額400,000円) 農林漁業振興資金の利子補給の助成(16件1,162,693円) 中間管理機構集積協力金(経営転協力金:103件41,469,000円、地域集積協力金:3件5,455,200円) アグリヒロイン育成事業を実施(講座5回、受講者24人) 	○
⑦農食ビジネス推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 農業者と商工業者とのマッチングや、新商品の開発に係る経費の補助、物産展への出展等による販路構築支援等を実施 生産地と消費地の近さを生かした流通モデルの構築等により、市内産の枝豆の高付加価値化、ブランド化を推進(今朝採り枝豆約2.6トン、飲食店71店舗、小売店2店舗で提供) 全国餃子まつりin仙台を開催(来場者数8万人) 学校給食の食材として市内産農産物を提供し、食育・地産地消に対する理解を深めてもらう「ここで給食」を実施(全190校で実施) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【中小企業人材確保・育成事業】 中小企業の魅力を情報発信するとともに、若者の定着支援等の事業を実施する。また、地元大学等と連携し、地域に貢献できる人材の育成に取り組んでいく。</p> <p>【中小企業経営基盤強化事業】 首都圏以外のバイヤー訪問や他展示会に関する情報収集等を行い、販路開拓の可能性を探る。また、新東北みやげコンテストについては、併設の商談会に来場するバイヤーを増やすとともに仙台市内でコンテストの受賞商品の販売会を実施する。</p> <p>【働く女性の活躍推進事業】 地域の企業や経済団体等と連携しながら、企業等における女性活躍促進に向けて引き続き取り組むとともに、女性役員候補育成プログラム開発に向けた調査研究を行う。</p> <p>【雇用対策事業】 就職面接会や各種就業支援施策を実施する。また、被災求職者に対する雇用支援として、国の基金を活用した事業復興型雇用創出助成を実施する。</p> <p>【中心部商店街活性化促進事業】 中心部商店街活性化協議会の自主運営に向けた収益確保の取組に対して重点的に支援する。</p> <p>【農業経営体育成支援事業】 「認定農業者数」は、集落営農組織等の法人化が進み、個々の認定農業者が法人に包含されたため減少した。H29年度からは、認定農業者や新たに認定農業者を目指す者を対象としたセミナーを開催することで認定農業者の維持拡大を図る。また、「農地利用集積率」は、通年施行によるほ場整備事業のため未作付地が発生し一時的に減少した。H29年度以降は、ほ場整備工事が順次完成するエリアが生じること及び複数の担い手が法人化し農地集積が促進されることが見込まれるため、農地利用集積率が向上する予定である。</p> <p>【農食ビジネス推進事業】 農食ビジネスに意欲のある事業者の掘り起こしや、新商品開発・販路拡大等への支援を実施する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(2) 東北の交流人口の拡大への戦略的取り組み

目 標	東北各地と連携し、観光やスポーツ・文化芸術など、多様な分野を融合させながら、圏域全体の集客力を高めるとともに、2020東京オリンピック・パラリンピックを契機とした本市の魅力向上と情報発信を進めます。				
総 括	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。				
個別事業名	①コンベンション誘致事業 ②広域観光推進事業 ③観光プロモーション推進事業 ④西部地区観光振興事業 ⑤秋保ミュージアム環境整備支援事業 ⑥国際交流事業 ⑦インバウンド推進事業 ⑧東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進				
関連する 指標等	指 標 等	実 績			
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	H30年度
	国際会議開催件数 ⇒平成30年までに250件に増加	平成26年中 80件	平成28年中 119件(暫定)		
	観光客入込数 ⇒平成29年までに2,300万人に増加	平成27年 22,293,853人	22,146,806人/年		
	仙台西部地域観光客入込数 ⇒平成29年までに600万人に増加	平成27年 5,780,629人	5,339,975人/年		
	秋保地区への観光客入込数 ⇒平成29年までに247万人以上に増加	平成26年中 224万人	246万人		
	国際姉妹・友好都市等への訪問及び 訪問団受け入れ回数 ⇒平成28～30年度で合計20件以上	平成27年度 6件	10件		
	外国人宿泊者数 ⇒平成30年までに11万人以上に増加	平成27年 115,947人/年	平成28年 128,450人/年		

実施計画
における
年次計画

①コンベンション誘致事業

H28年度	H29年度	H30年度
国際会議等コンベンションの誘致		

②広域観光推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
仙台・福島・山形 三市観光・物産広域連携推進（域内観光素材やモデルルート紹介等）	※東北六市連携に移行予定	
東北六市連携事業		
教育旅行誘致の強化・域内観光素材やモデルルート紹介等		

③観光プロモーション推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
Webサイト・ガイドブック等様々な媒体による情報発信		
仙台・宮城伊達な旅キャンペーンなどの誘客プロモーション実施		

④西部地区観光振興事業

H28年度	H29年度	H30年度
観光資源開発（地域資源を活用した体験型観光の推進）		
魅力発信（Web・ガイドブック等様々な媒体による情報発信）		
秋保・作並定義・泉西部地域活性化事業補助金交付事業		

⑤秋保ミュージアム環境整備支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
新たな資源の発掘		
資源を活用した地域づくり（秋保地域活動のつどいの実施）		

⑥国際交流事業

H28年度	H29年度	H30年度
国際姉妹・友好都市等海外とのつながりを活かした魅力発信や国際理解促進等に関する事業の実施		
国際姉妹・友好都市等への訪問及び訪問団受け入れ		

⑦インバウンド推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
海外へのプロモーション実施		
受入環境の整備、観光資源の発掘・磨き上げ		

⑧東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進

H28年度	H29年度	H30年度
対象国との交流計画策定		
キャンプ誘致及び各種文化・スポーツを通じた関連事業の開催		
動向調査・ホストタウン二次以降の登録検討		

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①コンベンション誘致事業	<ul style="list-style-type: none"> ・本市をPRする海外向け小冊子1,000部を海外見本市にて配布 ・世界最大規模の海外MICE見本市であるIMEXフランクフルトへ初出展 ・コンベンション開催助成制度における国際会議、国内会議の助成上限額をそれぞれ500万円、300万円へと拡充 ・第17回世界地震工学会議(平成32年開催)の仙台誘致に成功 ・MICE受入環境レベルアップセミナーの開催(5回)やコンベンションメールマガジンの発行(6回)、「仙台コンベンションおもてなしガイド」の作成 	○
	②広域観光推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「伊達な広域観光推進協議会」において教育旅行に焦点を当てたプロモーション活動を実施し、7校の教育旅行誘致を実現 ・「仙台・福島・山形三市観光・物産広域連携推進協議会」においてレンタカープランを作成し、周遊観光を促進 ・「東北絆まつり」の開催に向けた準備を行うとともに、「東京新虎まつり」やタイの旅行博において六市共同で国内外におけるプロモーションを実施 ・「復興ツーリズム」の推進を図り、東北太平洋沿岸地域への誘客を促進 ・観光送迎バス乗降場の利用実態調査を実施(3回) 	○
	③観光プロモーション推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト型ガイドブック「週末仙台」(県外中心に5万部配布) ・せんだい旅日和や伊達美味等のWebサイトを通じた情報発信 ・西部地区の体験型観光資源についてWebサイト・ポスター・チラシで情報発信 ・仙台・宮城伊達な旅夏キャンペーンを実施 ・首都圏七夕プロモーション実施(東京都内5ヶ所、横浜市内1ヶ所) ・仙台・青葉まつり(96万人)、仙台七夕まつり(228万人)、SENDAI光のページェント(275万人)を実施 	○
	④西部地区観光振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい観光資源としての自転車の可能性を探るため、モニターツアーを実施 ・秋保・作並・定義地区で多言語サインを整備 ・西部地区の体験型観光資源についてWebサイト・ポスター・チラシで情報発信 ・JR仙台駅において西部地区の魅力を発信する観光展を開催 ・秋保・作並定義・泉西部地域活性化事業助成金交付事業(16件13,856,000円助成) 	△
	⑤秋保ミュージアム環境整備支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・秋保資源活用委員会の活動を支援(活動回数全9回、延参加人数144人) ・「いってみっぺ秋保」パンフの企画・作成(新規5コース) ・ガイドモニターツアーを実施(全4回、延参加人数20人) ・戸神山登山道整備及び看板設置 ・白岩見晴台の環境を整備 ・秋保地区地域活動のつどいを実施(参加者数41団体106人) 	○

⑥国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台国際ハーフマラソン大会国際姉妹都市等選手団の受け入れ ・長春市人民代表大会訪問団、光州広域市交流訪問団、ダラス市長一行の受け入れ ・台南市交流促進協定締結10周年記念公式訪問団を派遣 ・リバサイド市姉妹都市提携60周年記念公式訪問団を派遣 ・レンヌ市等への訪問団を派遣 ・リバサイド市へのハーフマラソン選手団を派遣 ・台南市へのハーフマラソン選手団を派遣 	○
⑦インバウンド推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海外での旅行博覧会への出展、旅行会社・メディア等招請事業等を実施 ・まち歩きツアーの拠点ともなる外国人観光客向け観光案内拠点の設置 ・SENDAI free Wi-Fiのアクセスポイントを拡大 ・外国人観光客動態調査およびビッグデータを活用した市場分析調査を実施 ・外国人観光客消費拡大キャンペーンを実施 	◎
⑧東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリアオリンピック委員会、イタリアサッカー連盟、イタリアバレーボール連盟、イタリア野球・ソフトボール連盟を訪問し、キャンプの誘致活動を実施 ・上記の競技団体に対して、青少年を対象とした相互交流事業の実現に向けて協力を要請 ・リオデジャネイロオリンピック卓球女子日本代表の直前合宿を実施 ・イタリア共和国の文化・観光等を市民に紹介するキックオフイベント“Amo Italia!(アーモ イタリア)”を開催 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【コンベンション誘致事業】 国際会議の誘致・開催決定には数年間を要することから、知名度向上の取り組みを継続するとともに、仙台観光国際協会、仙台国際センター指定管理者、東北大学との連携強化によりコンベンション誘致を推進する。</p> <p>【広域観光推進事業】 東北六市の連携により「東北絆まつり」の仙台開催や共同での海外プロモーションを実施し、誘客促進を図る。また、東北連携の新たな取り組みとして「東北の観光案内所のネットワーク化事業」により、東北内の様々な自治体との連携強化を図り、東北域内の広域観光を推進する。</p> <p>【西部地区観光振興事業】 観光客のニーズを捉えた観光資源の検討が課題。新しい視点での紹介及び発信手段を取り入れるなど、効果的な事業展開を図る。</p> <p>【インバウンド推進事業】 国・地域により外国人観光客の動態や嗜好が異なることから、市場特性に応じたプロモーションを展開するとともに、「まち歩きツアー」などの滞在コンテンツの磨き上げや、外国人観光客の受入環境整備の強化を図る。</p> <p>【東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進】 イタリアとの文化・スポーツを通じた関連事業を継続的に開催するとともに、必要に応じ、スポーツコミッションせんだいの枠組みを活用し、宮城県や近隣市町村、大学等との連携を図りながら、サッカー、バレーボール、ソフトボールを基軸としたキャンプ誘致の取り組みを推進する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(3) 未来への活力を創る産業の育成・誘致

目 標	本市の人材力を生かし、次世代エネルギー関連事業や健康福祉事業など今後の成長産業の育成・誘致を推進し、本市の地域経済の自立的・長期的な発展と雇用の安定的な確保をめざします。			
総 括	一部で予定を上回る成果を上げた事業があり、目標の達成に向け着実に進捗している。			
個別事業名	①起業支援事業 ②IT産業国際連携促進事業 ③産学連携推進事業 ④地域ウェルビーイング産業創出事業 ⑤企業立地促進事業 ⑥次世代エネルギー創出促進事業			
関連する 指標等	指 標 等	実 績		
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度
	市内開業率 ⇒平成29年までに全国1位	平成26年 全国2位	-	
	IT産業国際連携による人材育成プログラム参加者数 ⇒平成28～30年度で合計60人以上	平成27年度 23人	20人	
	グローバルラボ仙台コンソーシアム参加企業・コンテスト参加者によるアプリケーション・ITサービスのリリース件数 ⇒平成28～30年度で合計20件以上	平成27年度 5件	4件	
	産学連携推進支援による製品化・事業化件数 ⇒平成28～30年度で合計30件以上	平成27年度 9件	11件	
	フィンランド企業等とのウェルビーイング事業提携件数 ⇒平成28～30年度で合計12件以上	平成27年度 3件	5件	
	市内企業のウェルビーイング製品・サービス事業化件数 ⇒平成28～30年度で合計9件以上	平成27年度 3件	5件	
	市内企業誘致数 ⇒平成28～30年度で合計45件以上	平成26年度 17件	26件	
	エネルギーを切り口としたまちづくりに関する企業等との共同研究取組件数 平成28～30年度で合計3件以上	平成27年度 5件	2件	

実施計画
における
年次計画

①起業支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
	起業支援センター「アシ☆スタ」による起業支援の実施	
	起業家応援イベント、起業家の販路開拓支援イベントの開催	

②IT産業国際連携促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	ゲーム及び課題解決型ITサービスを柱とした人材育成	
	開発したサービスのプロモーション・実証事業への協力、資金調達を含む事業化の支援、海外展開支援	

③産学連携推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	御用聞き企業訪問の実施	
	MEMS産業クラスター創生に対する支援	
	東北大学連携ビジネスインキュベーター（T-Biz）への支援	
	中小企業製品開発等への支援	

④地域ウェルビーイング産業創出事業

H28年度	H29年度	H30年度
	（フィンランドとの連携促進）	
	企業間連携の促進、共同プロジェクト等の実施	
	（地域企業のビジネス支援）	
	ビジネス開発委託事業、地域の協力事業所と連携した実証実験の実施	
	首都圏展示会への出展支援	
	フィンランド企業との商談支援	

⑤企業立地促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	企業誘致プロモーション実施	
	研究開発型企業の立地支援	
	企業立地促進に向けた助成	

⑥次世代エネルギー創出促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	（企業等との共同研究）	
	エネルギーを切り口としたまちづくりに関する共同研究の推進	
	（創エネルギー導入促進助成制度）	
	分散型エネルギー創出に向けた事業者等への助成	
	研究開発・実証実験施設の立地促進	
	（藻類バイオマス等研究開発の推進）	
	研究開発・実証実験等支援	

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①起業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・起業支援センターにおける相談を実施(窓口相談件数1,311件、平成28開業件数107件(平成29年4月速報値)) ・起業家セミナー・起業家交流会を開催(19回開催789人参加) ・起業家応援イベント「SENDAI for Startups! 2017」を開催(670人参加) ・「起業家週間SENDAI Entrepreneur Week 2017」を開催(19日間開催2,074人参加) ・UIJターン起業促進イベント「TOHOKU IGNITION」を開催(5回開催210人参加、1人移住・起業) ・社会起業人材育成プログラムを実施(9回開催269名参加、1名起業) ・グローバルベンチャー創出プログラムを実施(3回開催83名参加、1名起業) 	○
	②IT産業国際連携促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成プログラムとして、IT部門のプログラムを構築するにあたり、実験的なイベントを実施 ・企業支援プログラムとして、海外展開支援(3件)、海外企業とのマッチング支援(5社)、首都圏展示会出展(3回)、アプリコンテストにおける学生とのマッチング(1回)を実施 	○
	③産学連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・御用聞き型企業訪問事業を実施(企業訪問:63社、寺子屋せんだい:10回、メカトロセミナー:8回) ・MEMS産業の創出(マッチングフォーラム、仙台マイクロナノ国際フォーラム、MEMSデバイス試作実習講座(4人受講)を開催) ・ものづくり中小企業の新事業展開を支援(製品開発補助金6件採択、クラウドファンディング活用支援事業:4件採択) ・東北大学連携型起業家育成施設(T-Biz)を支援(入居企業への賃料補助:10社) 	○
	④地域ウェルビーイング産業創出事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業創成国際館への入居企業等を支援(日本側5団体、フィンランド側2団体) ・健康福祉サービス・機器開発委託業務を採択(3件) ・日本ーフィンランド国際ビジネスの提携件数(5件) 	○
	⑤企業立地促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進助成金制度による企業立地(新規指定件数26件) ・民間投資促進特区制度(ものづくり及び情報サービス産業)による立地企業への支援(新規指定件数20件) 	◎
	⑥次世代エネルギー創出促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーを切り口としたまちづくりに関する企業等との共同研究を実施(共同研究取組件数2件) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【起業支援事業】 雇用創出力があり地域経済活性化の核となる起業家や、本市の強みであるICT関連分野、大学の知財、研究成果を活用するベンチャー企業の育成を行い、支援の段階を深化させる。</p> <p>【IT産業国際連携促進事業】 IT分野における海外展開を希望する企業情報の把握が不十分であることから、海外展開関連の助成金の広報や他サポートメニューのPRを行い、海外展開を目指す企業へのアプローチを増やしていく。</p> <p>【地域ウェルビーイング産業創出事業】 付加価値の高い製品・サービスの市場投入・販売促進を図るため、高齢者のニーズ・特性を把握する福祉現場でのニーズ掘り起こしや、現場が受け入れやすい製品・サービスの開発促進、介護事業者との連携による実証フィールドの提供等を行う。</p> <p>【企業立地促進事業】 企業立地を促進するため、既存制度の活用に加え、IT系企業の人材確保支援の取り組みを強化する。</p> <p>【次世代エネルギー創出促進事業】 事業者へのヒアリングを通し企業との共同研究に向けた取り組みを推進するとともに、既に共同研究協定を締結している事業者とは事業展開の可能性等や事業の具体化に向けて協議を行う。</p>		

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(4) 新たな都市軸の形成と活用

目 標	地下鉄東西線の開業により生まれた新たな都市軸上の戦略的な重点地区について、地域特性に合わせた整備と機能の集積、活性化を図ります。																																																						
総 括	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。																																																						
個別事業名	①鉄道駅周辺地区交通結節機能強化推進事業 ②東西線沿線まちづくり推進事業 ③荒井駅北土地区画整理事業 ④青葉山公園整備事業																																																						
実施計画 における 年次計画	<p>①鉄道駅周辺地区交通結節機能強化推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">仙台駅西口駅前広場地下通路・エレベーター等工事</td> </tr> <tr> <td colspan="3">岩切駅自由通路・エレベーター等工事</td> </tr> <tr> <td>南仙台駅エレベーター工事</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路特定事業計画策定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">道路特定事業計画に基づくバリアフリー化（測量・設計・用地買収・工事）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">駅アクセス道路整備（測量・設計・用地買収・工事）</td> </tr> </tbody> </table> <p>②東西線沿線まちづくり推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">新たな土地利用に向けた課題解決相談・事業支援制度の紹介</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">土地利用事業の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>③荒井駅北土地区画整理事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">調査・検討</td> </tr> <tr> <td colspan="3">地権者合意形成</td> </tr> </tbody> </table> <p>④青葉山公園整備事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">（追廻地区整備）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">（仮称）公園センター等計画・設計及び整備</td> </tr> <tr> <td colspan="3">（国史跡指定地区整備）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">二の丸跡・長沼・五色沼等整備</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	仙台駅西口駅前広場地下通路・エレベーター等工事			岩切駅自由通路・エレベーター等工事			南仙台駅エレベーター工事			道路特定事業計画策定			道路特定事業計画に基づくバリアフリー化（測量・設計・用地買収・工事）			駅アクセス道路整備（測量・設計・用地買収・工事）			H28年度	H29年度	H30年度	新たな土地利用に向けた課題解決相談・事業支援制度の紹介				土地利用事業の実施		H28年度	H29年度	H30年度	調査・検討			地権者合意形成			H28年度	H29年度	H30年度	（追廻地区整備）			（仮称）公園センター等計画・設計及び整備			（国史跡指定地区整備）			二の丸跡・長沼・五色沼等整備		
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
仙台駅西口駅前広場地下通路・エレベーター等工事																																																							
岩切駅自由通路・エレベーター等工事																																																							
南仙台駅エレベーター工事																																																							
道路特定事業計画策定																																																							
道路特定事業計画に基づくバリアフリー化（測量・設計・用地買収・工事）																																																							
駅アクセス道路整備（測量・設計・用地買収・工事）																																																							
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
新たな土地利用に向けた課題解決相談・事業支援制度の紹介																																																							
	土地利用事業の実施																																																						
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
調査・検討																																																							
地権者合意形成																																																							
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
（追廻地区整備）																																																							
（仮称）公園センター等計画・設計及び整備																																																							
（国史跡指定地区整備）																																																							
二の丸跡・長沼・五色沼等整備																																																							

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①鉄道駅周辺地区交通結節機能強化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・観光送迎バス乗降場の利用実態調査(3回) ・仙台駅西口駅前広場再整備工事(バスプール部)に着手 ・岩切駅自由通路等整備工事により仮駅舎を新築 ・南仙台駅自由通路エレベーターの供用開始(2基) ・道路のバリアフリー化のため、道路特定事業計画を策定(泉中央地区・長町地区)、(市)青葉通線(一番町～西公園通)の歩道拡幅及び段差改善を実施 	○
	②東西線沿線まちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台工業団地の市内移転先の確保に向けた農政・都市計画手続きや跡地利用の計画検討などへの支援を実施 ・大規模土地所有者や開発事業者等に対し、駅周辺地区における土地利用転換や高度利用の促進に向けた働きかけを実施 ・東西線沿線資源の魅力や情報を伝えるパンフレットを市内宿泊施設や集客施設等に配架、教育旅行セミナー等で配布 	○
	③荒井駅北土地区画整理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域編入要望書提出(8月) ・地権者同意率が90%を超えないため要望書を取下げ(11月) ※都市計画審議会に市街化区域編入予定地区として諮問されていない(平成29年2月) 	△
	④青葉山公園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉山公園(仮称)公園センター整備に関する懇話会を開催(4回) ・青葉山公園(仮称)公園センター基本計画を策定 ・二の丸跡藤棚等改修工事の完了 ・本丸跡南側トイレ改築工事の完了 ・二の丸跡・五色沼・長沼公園整備工事に着手 ※追廻地区居住者(2世帯)の移転の協力が得られていない(平成29年3月) 	△
主な課題及び今後の対応	<p>【荒井駅北土地区画整理事業】 土地区画整理事業に対しての地権者同意が74%であり、新たに市街化区域編入を行う際に必要とされる90%以上の同意が得られないため、市街化区域編入予定地区として位置付けられないことから、地元での合意形成が図られた段階で事業手法も含め再検討を行う。</p> <p>【青葉山公園整備事業】 事業地内(追廻地区)においては、移転未了の居住者に対して任意交渉を継続しつつ、法的手段等も視野に入れ早期解決を図る。(仮称)公園センターの設計は、公募プロポーザルにより設計者を選定し設計に着手する。国史跡指定地区については、二の丸跡、長沼・五色沼の整備を完了させる。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針

1. 暮らしや経済の再建に向けた取り組み

目 標	被災された方々への住まいの再建支援、暮らし、健康に対する長期的な支援を引き続き実施するとともに、経済・農業の復興に向けた取り組みや都市基盤の再整備、美しく安全・安心な海辺の復元を進めます。				
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。				
個別事業名	①被災者生活再建支援事業 ②被災者の健康支援 ③津波浸水区域における住宅再建支援事業 ④東部地域農業生産基盤整備事業 ⑤蒲生北部地区復興再整備事業 ⑥仙台港周辺地区復興支援事業 ⑦東部地域移転跡地利活用推進事業 ⑧ふるさとの杜再生プロジェクト ⑨海岸公園再整備事業 ⑩海辺のふる里づくり支援事業 ⑪六郷東部地区現地再建まちづくり				
関連する 指標等	指 標 等	実 績			
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	H30年度
	市内被災世帯における仮設住宅退去済み世帯及び住まいの再建可能世帯の割合 ⇒平成28年度末で100%	平成27年末 88%	平成28年度末時点 100%		
	市外被災世帯における仮設住宅退去済み世帯及び住まいの再建可能世帯の割合 ⇒平成30年度末で99%	平成27年末 74%	平成28年度末時点 93%		
	東部地域ほ場(2,000ha)整備率 ⇒平成30年度末で100%達成	平成27年度 20%	50%		
	蒲生北部地区における使用収益を開始する宅地面積 ⇒平成30年度で34.1ha	平成27年度 0ha	10.3ha		
	仙台港周辺地区における復興特区の新規指定件数 ⇒平成28～30年度で合計15件	平成27年度 3件	5件		
	仙台港コンテナ貨物取扱量 ⇒平成30年中で257千TEU	平成27年中 224千TEU	246千TEU		
	海岸公園の災害復旧と避難の丘整備 ⇒平成29年度末までに整備完了	-	・海岸公園の災害復旧(蒲生、荒浜、井土地区) ⇒2地区(蒲生、荒浜)復旧完了 ・避難の丘整備(蒲生、荒浜、井土、藤塚地区) ⇒4地区(計4基)整備完了		

①被災者生活再建支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
各種生活再建支援 【市内被災世帯】		
各種生活再建支援【市外被災世帯】		

②被災者の健康支援

H28年度	H29年度	H30年度
健康支援・健康講座開催・コミュニティ支援		

③津波浸水区域における住宅再建支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
津波浸水予測区域からの住宅の移転再建に関する補助金の交付		
津波被災宅地防災対策に関する補助金の交付		
津波被災地域住宅再建の促進に関する補助金の交付		

④東部地域農業生産基盤整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
ほ場整備工事		

⑤蒲生北部地区復興再整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
移転補償		
土地区画整理工事、換地の引き渡し・保留地販売		

⑥仙台港周辺地区復興支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
仙台港利用促進に向けた各種事業の推進		
蒲生北部地区市有地利活用の促進（誘致活動）		
産業集積に向けた助成金の交付・復興特区制度の活用		

⑦東部地域移転跡地利活用推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
土地利用のアイデア募集 跡地利活用方針の決定企画提案の公募	企画提案者との条件協議 跡地利活用条件の確定	利活用事業者の決定 必要となる基盤整備

⑧ふるさとの杜再生プロジェクト

H28年度	H29年度	H30年度
市民植樹の継続開催		
市民参加による維持管理の実施		
支援の受け入れ（基金・苗木）		

⑨海岸公園再整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
蒲生・荒浜地区再整備		
井土地区再整備		
避難の丘植栽整備		

⑩海辺のふる里づくり支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
	ふる里づくり専門家の派遣	
	ふる里づくり活動への助成	
みんなの家移築	交流施設運営	
	インフラ整備の推進	

⑪六郷東部地区現地再建まちづくり

H28年度	H29年度	H30年度
まちづくり計画アクションプラン策定支援	交流促進支援	
東六郷コミュニティ・センター、東六郷小学校跡地の利活用の検討		
地域行事等を担う人材の育成		
地域主体の健康づくりへの支援		
道路補修工事		

個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
①被災者生活再建支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 生活再建支援員の戸別訪問等による相談事業(約3,800世帯) ひとり暮らし高齢者等生活支援システムの運用(350世帯に設置) 住宅再建相談会(7回開催相談件数59件) 復興公営住宅の入居支援金助成(支給件数349件) 復興公営住宅孤立防止対策を実施(戸別訪問466世帯、フォローアップ訪問592世帯) 町内会設立支援(39団地で設立又は加入) 	○
②被災者の健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問や電話などによる健康調査・健康相談の実施(合計6,735世帯、11,940件) 各保健福祉センター、総合支所保健福祉課で健康講座などを開催(249回、参加者:3,690人) 仮設住宅入居者に対する健康情報等の発行(3,225部) 	○
③津波浸水区域における住宅再建支援事業	<p>住宅再建に向けた支援の実施(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 区域A(※₁)・B(※₂)の移転住宅再建補助金(53件) 区域Aの宅地防災対策補助金(4件) 区域A・Bの現地住宅再建(建替)補助金(13件) 区域A・Bの現地住宅再建(修繕)補助金(7件) <p>※₁区域Aとは、様々な津波防災施設整備後も、なお津波による浸水が予測される区域で「移転対象地区」を除く区域 ※₂区域Bとは、津波被害を受けた地域のうち、「区域A」および「移転対象地区」を除く区域</p>	○
④東部地域農業生産基盤整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 対象約2,000haのうち約940ha整備完了 通年施行に伴う休耕補償の実施(件数370件、金額174,076,000円) 	○
⑤蒲生北部地区復興再整備事業	<p>土地区画整理事業の推進(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮換地指定(8回:93画地、計247画地) 使用収益開始(計10.3ha) 移転補償契約(建物17戸、工作物16件、占有者7件) 保留地処分(3,317㎡) 	○
⑥仙台港周辺地区復興支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 民間投資促進特区(ものづくり)認定と企業立地促進助成金制度による仙台港地区の立地企業への支援 仙台国際貿易港整備利用促進協議会による港湾利用促進事業を実施 蒲生北部地区市有地の利活用に係る事業者募集(5画地、計約19ha)を開始 	○
⑦東部地域移転跡地利活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 利活用のアイデア募集や市民との意見交換、各分野の専門家で構成された検討委員会などを経て、「利活用方針」を策定 	○
⑧ふるさとの杜再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 海岸公園蒲生地区において育樹会(41人参加)を実施 海岸公園荒浜地区において市民植樹(約230人参加)を実施 ふるさとの杜づくり再生寄付の受け入れ(4,695,000円) ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議を実施(6回) フェイスブックへの掲載及びニュースレターの発行による事業周知 	○
⑨海岸公園再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 井土地区、蒲生地区、荒浜地区、藤塚地区避難の丘整備工事完了 蒲生地区野球場2面、荒浜地区パークゴルフ場9ホールを利用再開 蒲生地区、荒浜地区災害復旧工事完了 	○

個別事業内容

<p>⑩海辺のふる里づくり支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新浜町内会、南蒲生町内会に対し、「ふる里づくり専門家」を派遣 ・新浜町内会を対象に、再建した集会所を活用したコミュニティ活性化等の活動への必要経費を助成 ・福田町南1丁目公園仮設住宅地内にあった「みんなの家」を新浜町内会区域に移転(H29.3.30移築工事完了) ・津波被災道路の復旧完了 	<p>○</p>
<p>⑪六郷東部地区現地再建まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画の実践にあたり、イベントのプラン作成支援を実施 ・東六郷小学校跡地整備についてデザイン案の作成を支援 ・東六郷コミセンの工事完了、地域への引き渡し ・市道中谷地線外2線 津波避難経路(220m 3,200千円) ・農道補修工事完了(360㎡ 8,384千円) 	<p>○</p>
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【被災者生活再建支援事業】 仙台市外で被災された仮設入居世帯に対し、被災元自治体の復興事業等の進捗状況や被災元自治体独自の支援制度等の情報提供を行うほか、再建に向けた支援についても被災元自治体と連携して対応する。</p> <p>【被災者の健康支援】 個別健康支援に加え、運動教室の開催、地域のサロン活動への誘導や活動支援など、地域コミュニティ支援を合わせて実施する。</p> <p>【東部地域移転跡地利活用推進事業】 利活用事業者の公募に向け事業者選定委員会を設置し、平成29年度末を目途に利活用事業者を決定する。</p> <p>【海岸公園再整備事業】 H29年度に井土地区の災害復旧を完了させ、H30年度に利用再開とする。</p> <p>【海辺のふる里づくり支援事業】 移築された「新浜みんなの家」の管理を新浜町内会に委託し、住民主体の交流施設として活用するよう支援する。また、路側帯の設置やカラー化等により歩行者の安全を確保する。</p> <p>【六郷東部地区現地再建まちづくり】 小学校の閉校によるPTAの解散など、これまで地域の交流事業を担っていた団体がなくなったため、持続可能な体制づくりを支援する必要がある。</p>	

重点事業 自己評価シート

Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針

2. 安全・安心確保の取り組み

目 標	津波により被害を受けた東部地域の津波防災対策をはじめとする安全・安心確保の取り組みを進めるとともに、震災の経験と教訓を活かした防災・仙台モデルの構築を図ります。				
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。				
個別事業名	①帰宅困難者対策事業 ②東部復興道路整備事業 ③緊急輸送道路防災対策事業 ④津波避難施設整備事業 ⑤消防ヘリコプター活動拠点復旧整備事業				
関連する 指標等	指 標 等	実 績			
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度	
	帰宅困難者一時滞在場所の滞在可能人数 ⇒平成30年度末で仙台駅周辺に11,000人以上・長町駅周辺2,000人以上・泉中央駅周辺1,000人以上を確保	平成26年度末 仙台駅周辺 8,500人、 長町駅周辺 2,000人、 泉中央駅周辺 0人	仙台駅周辺 9,610人、 長町駅周辺 2,000人、 泉中央駅周辺 0人		
	かさ上げ道路の整備 ⇒平成30年度に整備完了	-	用地買収 工事施工		
	避難道路の整備 ⇒平成30年度に整備完了	-	用地買収 工事施工		
	避難経路の整備 ⇒平成30年度に整備完了	-	測量設計 工事施工		
	緊急輸送道路における橋梁(20橋)の耐震補強 ⇒平成30年度末までに16橋完了	平成27年度末 0橋	1橋 (累計:1橋)		
	緊急輸送道路におけるのり面(19箇所)の落石対策 ⇒平成30年度末までにすべて完了	平成27年度末 5箇所	2箇所 (累計:7箇所)		
	津波避難施設の整備 ⇒平成28年度に整備完了	-	整備完了		
	消防ヘリコプターの活動拠点の整備 ⇒平成29年度に整備完了	-	基礎工事実施		

実施計画
における
年次計画

①帰宅困難者対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
	一斉帰宅抑制の啓発	
	一時滞在場所の確保	
	帰宅支援ステーションの展開	
	仙台駅周辺帰宅困難者対策等連絡協議会の運営・対応訓練の実施	

②東部復興道路整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
(かさ上げ道路、避難道路)		
用地取得	整備工事	
(避難経路)		
測量・設計・用地取得	整備工事	

③緊急輸送道路防災対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
	橋梁耐震補強工事	
	落石対策工事	
	路面下空洞対策工事	

④津波避難施設整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
本体整備工事	施設維持管理	
避難場所標識設置工事		

⑤消防ヘリコプター活動拠点復旧整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
庁舎・格納庫等建設工事		

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①帰宅困難者対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・一時滞在場所の確保に向け仙台駅周辺で、新たに2施設850人分の一時滞在場所を確保 ・仙台駅周辺帰宅困難者対策連絡協議会において、帰宅困難者対応訓練を実施 ・帰宅支援ステーションとして協力する企業に啓発ステッカーを配布 	○
	②東部復興道路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・かさ上げ道路(用地買収:0.82ha、盛土工事着手:6.6km、盛土工事完了:0.4km) ・避難道路(用地買収:0.15ha、道路工事着手:2.5km、道路工事完了:0.5km) ・避難経路(測量設計2か所完了、工事1か所完了) 	○
	③緊急輸送道路防災対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・茂庭大橋、太白大橋の耐震補強工事を完了 ・泉ヶ丘熊ヶ根線(大倉)の2箇所において、吹付法枠工などの対策を実施 	○
	④津波避難施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度津波避難施設が9施設完成(目標の13施設完成) 	○
	⑤消防ヘリコプター活動拠点復旧整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・航空隊庁舎及びヘリコプター格納庫の基礎工事实施 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【帰宅困難者対策事業】 泉中央駅周辺における一時滞在場所の確保に取り組むとともに、帰宅困難者の減少につながるよう一斉帰宅抑制について引き続き啓発を行う。また、訓練を重ねることで、各種マニュアルの検証や関係者による対応策の確認を行い改善を図る。</p> <p>【東部復興道路整備事業】 用地取得は98%完了したが、相続関係などの諸問題から未取得用地が残っている。平成29年度内の用地取得完了に向けて交渉を重ねていく。</p> <p>【緊急輸送道路防災対策事業】 橋梁の耐震補強工事について、長寿命化修繕工事と併せて計画的に実施することで、コストの縮減と平準化を図る。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針

3. 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み

目 標	震災前の地域のくらしや文化、震災の被災状況や復旧・復興の過程を後世に伝え、本市や東北における震災の経験や知見を世界へ発信します。																														
総 括	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。																														
個別事業名	①防災環境都市づくり推進事業 ②震災復興メモリアル事業 ③(仮称)仙台市復興記録誌の編さん																														
関連する 指標等	指 標 等	実 績																													
	⇒ 目 標	基準値等	H28年度	H29年度																											
	⇒平成30年度で2,600人に増加	平成27年度 2,000人	2,100人																												
	⇒平成30年度で12件に増加	平成27年度 6件	7件																												
	⇒平成30年度で5万人に増加	平成27年度 30,000人	55,473人																												
	⇒平成28年度に整備完了	-	整備完了																												
	⇒平成28年度中に発行	-	発行済																												
	⇒平成28年度中に発行	-	発行済																												
実施計画 における 年次計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">H28年度</td> <td style="width: 33%;">H29年度</td> <td style="width: 33%;">H30年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(防災環境都市づくりプロモーション)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ニュースレター発行</td> </tr> <tr> <td colspan="3">広報ツール制作、活用</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(国内外とのネットワーク構築・連携、国際会議での発言)</td> </tr> <tr> <td>アジア防災閣僚級会議</td> <td>国連防災グローバル・プラットフォーム会合</td> <td>アジア防災閣僚級会議</td> </tr> <tr> <td colspan="3">みやぎ防災・減災円卓会議</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(市民参加による普及啓発)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">市民参加の防災フォーラム開催 (毎年)</td> </tr> </table>				H28年度	H29年度	H30年度	(防災環境都市づくりプロモーション)			ニュースレター発行			広報ツール制作、活用			(国内外とのネットワーク構築・連携、国際会議での発言)			アジア防災閣僚級会議	国連防災グローバル・プラットフォーム会合	アジア防災閣僚級会議	みやぎ防災・減災円卓会議			(市民参加による普及啓発)			市民参加の防災フォーラム開催 (毎年)		
H28年度	H29年度	H30年度																													
(防災環境都市づくりプロモーション)																															
ニュースレター発行																															
広報ツール制作、活用																															
(国内外とのネットワーク構築・連携、国際会議での発言)																															
アジア防災閣僚級会議	国連防災グローバル・プラットフォーム会合	アジア防災閣僚級会議																													
みやぎ防災・減災円卓会議																															
(市民参加による普及啓発)																															
市民参加の防災フォーラム開催 (毎年)																															

②震災復興メモリアル事業

H28年度	H29年度	H30年度
震災遺構保存整備工事	一般公開	
せんだい3.11メモリアル交流館運営		
市中心部拠点施設検討	施設整備	
アーカイブのあり方検討	アーカイブシステム整備	アーカイブ発信

③(仮称)仙台市復興記録誌の編さん

H28年度	H29年度	H30年度
「(仮称)仙台市復興記録誌」製作・発刊		

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①防災環境都市づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台防災未来フォーラム2017(来場者延1,600人、うち実入場者数1,000人) ・国際会議でのプレゼンテーション、スピーチ、展示、パンフレット配布等 ・海外からの視察等受入(合計38件) 	○
	②震災復興メモリアル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・荒浜小学校校舎の震災遺構保存整備工事完了 ・せんだい3.11メモリアル交流館運営(4回の企画展や関連イベントの開催、視察受入れ等) ・「3.11オモイデツアー」ほか市民参加型のプログラム実施 ・荒浜地区地域、中野地区地域、藤塚地区のモニュメント整備 ・せんだいメディアテークにおいて展覧会「震災と暮らし-震災遺産と人びとの記録からふりかえる-」を開催(延べ8,081人参加) ・被災歴史資料の保全 	△
	③(仮称)仙台市復興記録誌の編さん	<ul style="list-style-type: none"> ・「東日本大震災 仙台市 復興五年記録誌」(行政・研究者向け記録誌)を発行(4,000部)し、全国の自治体等へ発送 ・「東日本大震災 仙台復興のあゆみ」(市民向け記録誌)を発行(10,000部)し、せんだい3.11メモリアル交流館等で配布 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【防災環境都市づくり推進事業】 国連との関係維持を図るため、防災・減災に係る本市主催イベントや各種取組についての情報提供を行う。</p> <p>【震災復興メモリアル事業】 「震災遺構保存」については、遺構としての特性を生かし荒浜小学校を効果的に活用するとともに、荒浜地区における住宅基礎部分の保存について検討を進める。 「せんだい3.11メモリアル交流館運営」については、引き続き市内外の小中学校・各種団体の見学を広く受け入れるとともに、荒浜小学校とも連携し発信力を強化する。 「市中心部拠点施設検討」については、類似施設の情報収集や有識者からの意見聴取を行い課題整理を進めたが、施設のコンセプトや持つべき機能について更に議論を深めていく。 「アーカイブのあり方検討」については、本市全体の方針整理にまでは至らなかったことから、引き続き関係部局との連携を図りつつ早急に検討を進める。</p> <p>【(仮称)仙台市復興記録誌の編さん】 「仙台市復興五年記録誌」、「仙台復興のあゆみ」により、今後とも復興の発信に努めていくとともに、H29年度には海外に向け「仙台復興のあゆみ」の英語版を作成する。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

1. 未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進

目 標	<p>地域や社会に向け市民が力を発揮することで都市に活力が生まれ、コミュニティのきずなが強まるとともに、一人ひとりの自己実現や生きがいにつながります。自ら主体となって活動する市民が、さまざまな学びによって力を蓄え、地域で互いに支え合い、新しい価値の創出にチャレンジできる環境を整える必要があります。</p> <p>成熟社会における本市の持続的な発展を支えるためには、幅広い世代からなる個人や地域団体、NPO、企業等、多様な主体による知恵を集め、それぞれの得意分野を生かした協働を進めていくことが重要です。</p> <p>一人ひとりが輝く杜の都の実現をめざし、未来を創る市民力を育み広げ、都市の豊かさや暮らしの充実に多面的に生かす市民協働を推進します。</p>																																				
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。																																				
個別事業名	<ul style="list-style-type: none"> ①多様な市民活動促進事業 ②まちづくり支援専門家派遣事業 ③新しい市民協働の仕組みづくり事業 ④区民協働まちづくり事業 																																				
実施計画 における 年次計画	<p>①多様な市民活動促進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(仮称) 協働まちづくり推進実施計画に基づく事業の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>②まちづくり支援専門家派遣事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">まちづくりアドバイザー派遣</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">まちづくりコンサルタント派遣</td> </tr> </tbody> </table> <p>③新しい市民協働の仕組みづくり事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">市民協働事業提案制度の運用、事業の実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">「新たな仕組み」の調査・検討</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">「新たな仕組み」事業実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">モデル事業</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(仮称) 協働まちづくり推進実施計画の策定</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">計画の進捗管理・見直し</td> </tr> </tbody> </table> <p>④区民協働まちづくり事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">市民と行政による各区まちづくり事業の実施</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	(仮称) 協働まちづくり推進実施計画に基づく事業の実施			H28年度	H29年度	H30年度	まちづくりアドバイザー派遣			まちづくりコンサルタント派遣			H28年度	H29年度	H30年度	市民協働事業提案制度の運用、事業の実施			「新たな仕組み」の調査・検討	「新たな仕組み」事業実施		モデル事業			(仮称) 協働まちづくり推進実施計画の策定	計画の進捗管理・見直し		H28年度	H29年度	H30年度	市民と行政による各区まちづくり事業の実施		
H28年度	H29年度	H30年度																																			
(仮称) 協働まちづくり推進実施計画に基づく事業の実施																																					
H28年度	H29年度	H30年度																																			
まちづくりアドバイザー派遣																																					
まちづくりコンサルタント派遣																																					
H28年度	H29年度	H30年度																																			
市民協働事業提案制度の運用、事業の実施																																					
「新たな仕組み」の調査・検討	「新たな仕組み」事業実施																																				
モデル事業																																					
(仮称) 協働まちづくり推進実施計画の策定	計画の進捗管理・見直し																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																			
市民と行政による各区まちづくり事業の実施																																					

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①多様な市民活動促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動サポートセンターの運営(相談件数:861件) ・「仙台ミラソン」や「WE SCHOOL」等の若者の社会参画を推進するイベント開催等(全17事業) ・企業の社会貢献活動の促進の一環として、「マチノフWEEK」を開催(参加者数は延べ1,162人) ・NPO法人設立認証等に係る事務や、運営に関する相談・支援等を実施 	○
	②まちづくり支援専門家派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりアドバイザーを派遣(13地区) ・まちづくりコンサルタントを派遣(1地区) 	○
	③新しい市民協働の仕組みづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「仙台市協働まちづくり推進プラン2016」を策定し事業の進捗管理を開始 ・「市民協働事業提案制度」の実施(5事業を採択、候補事業に選定・事前協議) ・「協働まちづくり推進助成事業」を新設し、平成29年度のモデル事業を募集(4事業を助成候補事業に選定) 	○
	④区民協働まちづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各区及び総合支所において地域団体等との協働による各種事業を実施 ・各区及び総合支所においてまちづくり活動助成を実施 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【まちづくり支援専門家派遣事業】 区役所等の関係各課や専門家との連携を高め、まちづくり支援専門家の幅広い分野での活用を目指す。</p> <p>【新しい市民協働の仕組みづくり事業】 協働まちづくり推進助成事業については、モデル事業の評価結果を踏まえ、平成30年度以降の本格運用を目指す。</p> <p>【区民協働まちづくり事業】 まちづくり活動の担い手となる地域の人材発掘や、若い世代の参画を推進する仕掛けづくり及び助成終了後の活動のフォローアップについて検討を行う。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

2. 地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進

目 標	<p>東日本大震災を経験した地域、高齢化や人口減少が進む地域、人口が増加している地域など、地域活動の担い手の状況や地域団体間の連携の度合い、活動の頻度や種類など、地域ごとの状況や課題は多様化・複雑化しており、地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進していくためのきめ細かな支援が求められています。</p> <p>このため、区役所の「地域協働拠点」としての機能を強化するとともに、市役所全体が地域を重視した組織横断的な対応を強化するなど、地域の実情に応じた地域づくりを進めるための体制整備が必要です。</p> <p>市民の暮らしの基盤である地域社会を安心・快適でより良いものにするために、個々の特性に応じた課題や理念の共有のもと、市民協働による地域づくりを進めます。</p>																																										
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。																																										
個別事業名	<ul style="list-style-type: none"> ①区役所のまちづくり拠点機能の強化 ②東西線沿線にぎわい推進事業 ③西部地区(青葉区)活性化事業 ④西部地区(太白区)活性化事業 ⑤西部地区(泉区)活性化事業 ⑥市民センターによる地域づくり支援事業 ⑦市民センター整備事業 ⑧コミュニティ・センター整備事業 																																										
実施計画 における 年次計画	<p>①区役所のまちづくり拠点機能の強化</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">各区による地域の特性に応じた地域づくり事業の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>②東西線沿線にぎわい推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">まちづくり人材育成とプロジェクトの実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">情報発信メディアの管理</td> </tr> <tr> <td colspan="3">まちづくり活動への助成</td> </tr> <tr> <td colspan="3">東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">沿線のにぎわいづくりのためのイベント等開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>③西部地区(青葉区)活性化事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">ラサント駐車場整備</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ラサントを拠点とした販路創出に向けた地域との連携・推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>④西部地区(太白区)活性化事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">地区活性化推進策・支援策検討</td> </tr> <tr> <td colspan="3">活性化に向けた取り組みの実施</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	各区による地域の特性に応じた地域づくり事業の実施			H28年度	H29年度	H30年度	まちづくり人材育成とプロジェクトの実施			情報発信メディアの管理			まちづくり活動への助成			東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等			沿線のにぎわいづくりのためのイベント等開催			H28年度	H29年度	H30年度	ラサント駐車場整備			ラサントを拠点とした販路創出に向けた地域との連携・推進			H28年度	H29年度	H30年度	地区活性化推進策・支援策検討			活性化に向けた取り組みの実施		
H28年度	H29年度	H30年度																																									
各区による地域の特性に応じた地域づくり事業の実施																																											
H28年度	H29年度	H30年度																																									
まちづくり人材育成とプロジェクトの実施																																											
情報発信メディアの管理																																											
まちづくり活動への助成																																											
東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等																																											
沿線のにぎわいづくりのためのイベント等開催																																											
H28年度	H29年度	H30年度																																									
ラサント駐車場整備																																											
ラサントを拠点とした販路創出に向けた地域との連携・推進																																											
H28年度	H29年度	H30年度																																									
地区活性化推進策・支援策検討																																											
活性化に向けた取り組みの実施																																											

⑤西部地区(泉区)活性化事業

H28年度	H29年度	H30年度
	自然体験会の開催	
	泉西部地区観光イベントの開催	

⑥市民センターによる地域づくり支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
	住民参画・問題解決型学習の推進	
	子ども参画型社会の創造支援	
	若者社会参画型学習の推進	
	学びのまち・仙台市民カレッジの開催	
	学習情報の提供・収集	

⑦市民センター整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
若林区中央市民センター別棟改築工事		
	西多賀市民センター改築工事	
旭ヶ丘市民センター整備に向けた調査・検討	基本設計・実施設計	
根白石市民センター大規模修繕工事		
馬場市民センター大規模修繕	設計・工事	
山田市民センター大規模修繕	設計・工事	
将監市民センター大規模修繕	設計・工事	
	茂庭台市民センター大規模修繕 設計・工事	
	大沢市民センター大規模修繕 設計・工事	
		若林市民センター大規模修繕 設計
		幸町市民センター大規模修繕 設計

⑧コミュニティ・センター整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
東六郷コミュニティ・センター新築工事		
七郷六丁目コミュニティ・センター大規模修繕工事		
通町コミュニティ・センター大規模修繕工事		
台原コミュニティ・センター大規模修繕	設計・工事	
上野山コミュニティ・センター大規模修繕	設計・工事	
八幡コミュニティ・センター大規模修繕	設計・工事	
大和コミュニティ・センター大規模修繕	設計・工事	
	向山コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
	南材コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
	泉ヶ丘コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
	東仙台コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
		郡山コミュニティ・センター大規模修繕 設計
		北中山コミュニティ・センター大規模修繕 設計
		鶴巻コミュニティ・センター大規模修繕 設計
		太白コミュニティ・センター大規模修繕 設計

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①区役所のまちづくり拠点機能の強化	・平成29年度からの「ふるさと支援担当課長」配置や、各まちづくり推進課職員の増員等、各区及び総合支所の体制強化を実施 ・「ふるさと底力向上プロジェクト」の立ち上げ	○
	②東西線沿線にぎわい推進事業	・まちづくり人材育成講座「WE SCHOOL」を開講(94人が受講、10件のプロジェクトが実現) ・東西線沿線の地域活性化、東西線の利用促進につながる事業に助成(約3,200人の参加) ・東北工業大学と連携して東西線沿線まちづくりの研究等を実施 ・東西線沿線の賑わい創出につながるイベントを開催、支援(約11,000人の参加)	○
	③西部地区(青葉区)活性化事業	・ラサント(作並観光交流センター)活性化のため、駐車場及び看板を整備(駐車スペース20台⇒42台に増設)	○
	④西部地区(太白区)活性化事業	・生出地区まちづくり委員会及び坪沼地区ふるさと活性化研究会において、まちづくり専門家派遣制度を活用した勉強会を月1回開催 ・秋保体験観光創出支援事業の一環として「仙台秋保そば打ち大会」を実施	○
	⑤西部地区(泉区)活性化事業	・観光協会の立ち上げを支援し、以下の事業について区主催への協力、区との共催の形での連携 ・リンゴ農作業体験を実施(1回) ・泉ヶ岳ヒルクライムを実施 ・雪灯籠づくりと古民家見学を実施	○
	⑥市民センターによる地域づくり支援事業	・市民参画型事業を継続して実施 ・「地域づくり支援講座」を「基礎」「応用」の2つに分け、参加者の学習段階に応じた学習機会の提供 ・「仙台再発見リレー講座」「就労準備講座」「現代課題講座」と3種の講座を開催	○
	⑦市民センター整備事業	・若林区中央市民センター別棟、西多賀市民センター改築工事完了 ・旭ヶ丘駅前複合施設整備に向けた調査検討 ・根白石市民センター大規模修繕工事完了 ・馬場市民センター、山田市民センター大規模修繕設計完了	○
	⑧コミュニティ・センター整備事業	・東六郷コミュニティセンター新築工事完了 ・七郷六丁目コミュニティセンター、通町コミュニティセンター大規模修繕工事完了 ・台原コミュニティセンター、上野山コミュニティセンター、八幡コミュニティセンター大規模設計の開始	○
主な課題及び今後の対応	<p>【区役所のまちづくり拠点機能の強化】 市民センターの見直しなど、更なる地域づくり拠点機能の強化に向け関係部署等との協議・検討を着実に進める。</p> <p>【東西線沿線にぎわい推進事業】 WE SCHOOL卒業生によるプロジェクト実現へのフォローアップを図る。また、東西線沿線の地域活性化、利用促進につながる事業への助成を引き続き実施する。</p> <p>【西部地区(青葉区)活性化事業】 ラサント運営団体の自主運営に必要な収益の確保が課題であり、関係部局と連携しながら必要な支援を行う。</p> <p>【西部地区(太白区)活性化事業】 坪沼地区については、坪沼小学校跡の施設利用の協議を進める。また、生出地区および秋保地区についても、関係団体と協議しながらふるさと底力向上プロジェクト等により活動を支援する。</p> <p>【西部地区(泉区)活性化事業】 ふるさと支援担当とまちづくり推進課が一体となり、西部地区の豊かな自然を活かした体験型の観光イベント等を企画・展開する。</p> <p>【コミュニティ・センター整備事業】 工事着手前の休館に向けた準備と工事期間中の対策及びコミセン再開に向けた準備について、地域と連携した対応に努める。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

3. 地方の時代を先導する市役所への自己変革

目 標	<p>時代の転換期にあつて、持続可能な都市の発展を支え、未来に責任を持つ都市経営を実現するためには、本市の資産である多様な主体の活動を広げるとともに、健全で持続可能な財政基盤の確立など、さまざまな面から市役所の自己変革を進めることが求められます。</p> <p>財政制約の強まる中、健全性を高める財政運営に向け、ガス事業の民営化を推進し、効率的な行政運営の実現をめざすと同時に、人材の育成や職員の資質向上、意識改革、組織改革などを進めることが必要です。</p> <p>市民や東北の期待に応え、創造的な都市経営力を発揮しながら地方の時代を先導し、仙台の未来に責任を持つことができる市役所への自己変革を加速します。</p>															
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。															
個別事業名	①ガス事業の民営化 ②人材育成機能・組織力の強化															
実施計画における年次計画	①ガス事業の民営化 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">H28年度</td> <td style="width: 33%;">H29年度</td> <td style="width: 33%;">H30年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3">方向性に即したガス事業の展開</td> </tr> </table> ②人材育成機能・組織力の強化 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">H28年度</td> <td style="width: 33%;">H29年度</td> <td style="width: 33%;">H30年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3">事例研究・調査</td> </tr> <tr> <td colspan="3">人材育成等に向けた取り組みの実施</td> </tr> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	方向性に即したガス事業の展開			H28年度	H29年度	H30年度	事例研究・調査			人材育成等に向けた取り組みの実施		
H28年度	H29年度	H30年度														
方向性に即したガス事業の展開																
H28年度	H29年度	H30年度														
事例研究・調査																
人材育成等に向けた取り組みの実施																

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①ガス事業の民営化	<ul style="list-style-type: none"> ・各般の経営改善の実施 ・本市域で事業展開を行う可能性があるエネルギー事業者等との意見交換を実施 	○
	②人材育成機能・組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・税務及び福祉等の分野で高い専門性を持つ職員を育成・配置するため、キャリア選択職員の公募を実施 ・管理職以上で実施していた業績評価を係長職以下でも実施するなど、人事評価制度の見直しを実施 ・全職員に対するコンプライアンス研修を実施 ・若手職員向けに仕事基礎力強化等の研修を実施 ・管理監督職向けに部下指導力向上等の研修を実施 ・市職員をNPO等市民活動団体に派遣する「協働推進人材育成事業 ～NPO留学してみませんか～」を実施(受入団体数14団体、研修参加者数20人) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【ガス事業の民営化】 ガスの小売全面自由化による事業環境の変化やエネルギー事業者の動向等を的確に捉えながら、時期を逃さぬ対応を行う。</p> <p>【人材育成機能・組織力の強化】 研修参加者の参加報告やアンケート結果に基づき、より効果的な研修プログラムのあり方を検討する。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

4. 公共施設の経営改革

目 標	<p>高度成長期や政令指定都市移行時期に整備した庁舎や市民利用施設、廃棄物処理施設、公園、道路、地下鉄、上下水道など、幅広い分野にわたる数多くの施設が更新の時期を迎える中、中長期的な視点に立った公共施設の整備や維持管理が求められます。</p> <p>また、市民ニーズの多様化や財政制約の高まりの中で、新たなニーズへの現有施設を活用した対応や整備運営における民間活力活用の一層の促進、市民が担い手となる分野の拡大など、安定した公共施設運営に向けた取り組みが必要になっています。</p> <p>公共施設に関する総合的なマネジメントの仕組みを構築するとともに、その確実な推進のための組織横断的な体制を整備するなど市民ニーズに対応し安心して利用できる施設を将来にわたって持続的に提供できるよう、公共施設の総合的な管理・保全の強化や現有施設活用による経営改革を進めます。</p>																																																			
総 括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。																																																			
個別事業名	<p>①公共施設総合マネジメント推進事業</p> <p>②スポーツ施設大規模修繕・改修事業</p> <p>③道路施設等長寿命化修繕事業</p> <p>④下水道改築更新事業</p>																																																			
実施計画 における 年次計画	<p>①公共施設総合マネジメント推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○施設の長寿命化の推進 (学校・市民センター等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">改修設計→改修工事のサイクル (大規模施設等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">改修基本計画を策定の上、改修設計→改修工事のサイクル</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○インフラ系施設の長寿命化対策</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">分野ごとに整備計画を策定し、長寿命化対策を実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○施設の質・量の適正化</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施設データの 一元的整備 検討体制の整備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">施設データの更新・活用、施設の将来のあり方検討</td> </tr> </tbody> </table> <p>②スポーツ施設大規模修繕・改修事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">計画的な大規模修繕・改修の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>③道路施設等長寿命化修繕事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">対象施設の調査・点検</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">個別施設ごとの長寿命化修繕計画策定</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">対策工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>④下水道改築更新事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">管きよの改築更新（設計・工事）</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">設備の改築更新（設計・工事）</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度		○施設の長寿命化の推進 (学校・市民センター等)			改修設計→改修工事のサイクル (大規模施設等)			改修基本計画を策定の上、改修設計→改修工事のサイクル			○インフラ系施設の長寿命化対策			分野ごとに整備計画を策定し、長寿命化対策を実施			○施設の質・量の適正化		施設データの 一元的整備 検討体制の整備	施設データの更新・活用、施設の将来のあり方検討		H28年度	H29年度	H30年度		計画的な大規模修繕・改修の実施		H28年度	H29年度	H30年度		対象施設の調査・点検			個別施設ごとの長寿命化修繕計画策定			対策工事		H28年度	H29年度	H30年度		管きよの改築更新（設計・工事）			設備の改築更新（設計・工事）	
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
	○施設の長寿命化の推進 (学校・市民センター等)																																																			
	改修設計→改修工事のサイクル (大規模施設等)																																																			
	改修基本計画を策定の上、改修設計→改修工事のサイクル																																																			
	○インフラ系施設の長寿命化対策																																																			
	分野ごとに整備計画を策定し、長寿命化対策を実施																																																			
	○施設の質・量の適正化																																																			
施設データの 一元的整備 検討体制の整備	施設データの更新・活用、施設の将来のあり方検討																																																			
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
	計画的な大規模修繕・改修の実施																																																			
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
	対象施設の調査・点検																																																			
	個別施設ごとの長寿命化修繕計画策定																																																			
	対策工事																																																			
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
	管きよの改築更新（設計・工事）																																																			
	設備の改築更新（設計・工事）																																																			

	個別事業名	H28年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①公共施設総合マネジメント推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設総合マネジメント推進本部会議を立ち上げ、施設の将来のあり方等について検討する体制を整備 ・市民センター、老人憩の家等について施設データを公表し施設の現状の「見える化」を推進 ・ネーミングライツを新規導入(5施設) ・学校や市民センターなどの改修設計を実施(17施設) ・「仙台市市有建築物低炭素化整備指針」に基づき、改修設計において仕様を反映(17施設) ・バス営業所や整備工場などの自動車運送施設の現状確認 ・地下鉄南北線土木構造物の劣化進行状況や健全度について詳細調査・試験により現状確認を実施 	○
	②スポーツ施設大規模修繕・改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市体育館における建物・設備の劣化状況調査を実施し改修整備計画を策定 ・宮城広瀬体育館における屋根の改修・外装改修等、躯体保全にかかる大規模改修工事の設計を完了 ・根白石温水プールにおけるプールの天井材、屋根材腐食に対応するための大規模改修工事の設計を完了 ・泉サッカー場における西フィールドの天然芝張替え工事を完了 	○
	③道路施設等長寿命化修繕事業	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁274橋、ボックスカルバート3基、横断歩道橋12橋、ペDESTリアンデッキ1箇所、道路照明灯1,270灯の定期点検を実施 ・長寿命化修繕計画の策定・公表(トンネル、シェッド・シェルター、舗装) ・橋梁 21橋の対策工事に着手し13橋が完成 	○
	④下水道改築更新事業	<ul style="list-style-type: none"> ・管きよの改築更新(着手2.1km うち 完成0.1km) ・南蒲生浄化センター脱水機速度制御装置改築工事完了 ・定義浄化センター電気設備改築工事完了 ・郡山ポンプ場No.4汚水ポンプ及び液体抵抗器改築工事完了 ・みやぎ中山ポンプ場電気設備更新工事完了 ほか 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【スポーツ施設大規模修繕・改修事業】 公共施設マネジメントプランにおけるスポーツ施設の計画的な改修推進の基礎となる各施設の劣化状況評価、用途分類毎の改修方針の整理などを行い、H29年度に「仙台市スポーツ施設修繕・整備計画」を策定する。</p> <p>【道路施設等長寿命化修繕事業】 施設種別毎の計画を基本に、緊急輸送道路等、路線の重要度の観点から優先順位を再整理するなど、路線単位での効率的・効果的な事業展開のあり方について検討する。</p> <p>【下水道改築更新事業】 浄化センター・ポンプ場設備の改築更新を着実に実施していくとともに、一部遅れが生じている管きよの改築更新については適切に実施していく。</p>		

